

Eleena
エリーナ

洗面化粧台 設置説明書



もくじ

安全上のご注意	2
工事区分のご確認	3
設置前のご確認	3
組立配管図	3
設置手順	5
点検・仕上げ	28
お願い事項	28

- ◆この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。
- ◆設置後は、水栓の取扱説明書とこの説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない場合は、わかりやすい場所に納めておいてください。
- ◆水栓の水量調整及び器具の点検を容易にするため、必ず止水栓をご使用ください。
- ◆給排水工事は、必ず水道局指定工事店に依頼してください。
- ◆設置完了後、各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
- ◆本製品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万一の場合にそなえ、製品に布などをかぶせて保護してください。
- ◆梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いいたします。

安全上のご注意

必ずお守りください

- 設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



必ず実行

このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。



禁止

このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。



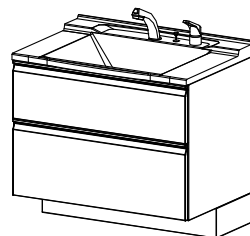
警告

- キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行う
固定方法を誤ると使用中に下台が転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。
特にフロートタイプキャビネット(台輪の奥行きが小さいタイプ)は、キャビネット自体が自立しないため、正しく固定されていないと転倒し、ケガをするおそれがあります。



必ず実行

- 電気工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行う
火災・感電の原因になることがあります。
- 定格15A以上のコンセントを単独で使えるよう施工する
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火することがあります。
- 交流100V以外の電源は絶対に使用しない
火災・感電の原因になります。



フロートタイプ



注意

- 組み込まれる水栓などについては、それぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する
設置を誤ると思わぬ事故や故障の原因になります。
- ストラップと排水管との接続は設置手順にしたがってスキマのないように正しく行う
接続部にスキマがあると、不快な臭いやカビの発生原因になることがあります。
- 排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行う
接続に不備があった場合、使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。
- 排水器具(ポップアップつまみ・バック排水管・ストラップ)のナットを締める際は手で強く締める
工具を使用してナットを締めると、過度の力によりナットが割れて水漏れが発生するおそれがあります。
- 扉や引出表板を調整する時は、手回しドライバーを使用する
ネジがはずれて扉や引出表板が落下するおそれがあります。
- 設置完了後、排水栓を閉栓した状態で吐水を全開にして水がボウル面からあふれそうな場合は止水栓をしぼって流量調整する
水があふれることで拡大損害につながるおそれがあります。
- 設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する
扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。
- カウンターを移動する場合は、水平にした状態で運ばない
カウンターに損傷を与えるおそれがあります



必ず実行



禁止

- ストラップをU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない
使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて床を汚すおそれがあります。
- 工具類等をキャビネットに落としたり当てたりしない
キズがついたり欠けたりするおそれがあります。
- 設置する時にカウンターやボウルに乗らない
ボウルが割れたりキズがつくおそれがあります。
- 浴室等湿気の多い場所への設置は避ける
製品が早く傷むおそれがあります。
- 直射日光や殺菌灯があたる場所、高温になる場所への設置は避ける
プラスチック部品や塗装部品が変色するおそれがあります。

工事区分のご確認

■洗面化粧台の設置作業は、組付け前後に大工工事・電気工事・管工事が必要です。事前に工事区分を明確にするために、現場責任者と十分打ち合わせを行ってください。

工事区分	業種区分	作業名称(区分)
設置前工事	大工工事	建築壁の下地工事、建築壁の造作・壁仕上げ工事
	電気工事	電気配線事前工事
	管工事	給水・給湯配管立上げ工事、排水管立上げ工事
洗面化粧台設置	建設工事 外区分	洗面化粧台の取付
		ミラーキャビネットの取付
		ウォールキャビネットの取付
		トールキャビネット等の取付
		排水部品の組立
		水栓類の組立・取付
		製品間のコーキング処理作業
		試運転、完成検査
設置後工事	電気工事	ミラーキャビネット等の電気接続工事
	管工事	給水・給湯配管接続工事、排水管接続工事

設置前のご確認

- ・屋内側の給排水管が所定の位置に設置されているか確認してください。(給排水位置図参照)
- ・固定下地には、ネジ固定位置を中心に十分な強度を持つ厚み12mm、幅100mm以上の合板が貼られているか確認し、所定の付属ネジを使用して手順通り確実に行ってください。(キャビネット壁面固定位置図参照)
- ・直結配線工事をされる場合は、あらかじめ電気配線位置を確認してください。(電気配線位置図参照)

※間口15cmトールキャビネットのみ

(注)直結する屋内配線コードには、VVFケーブルφ1.6またはφ2.0単線が適合します。

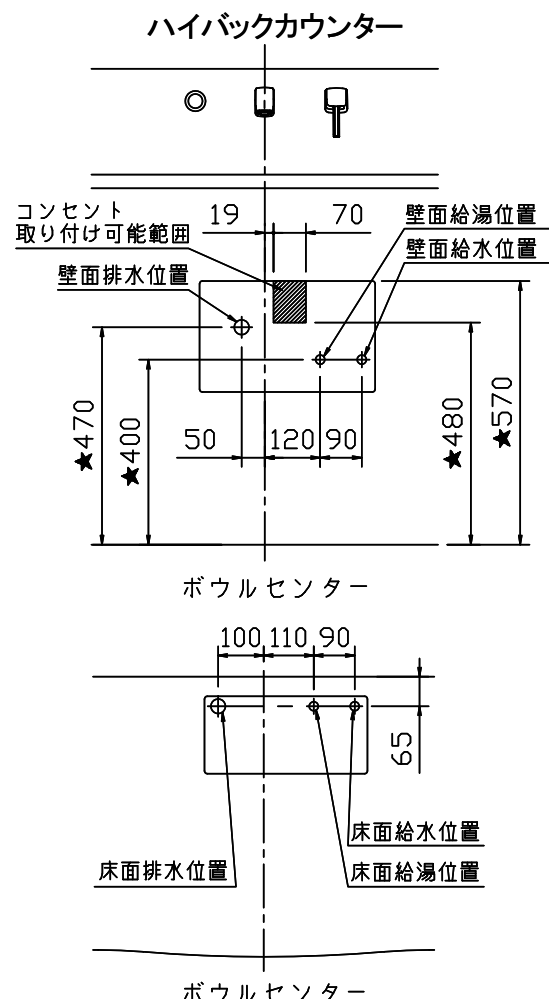
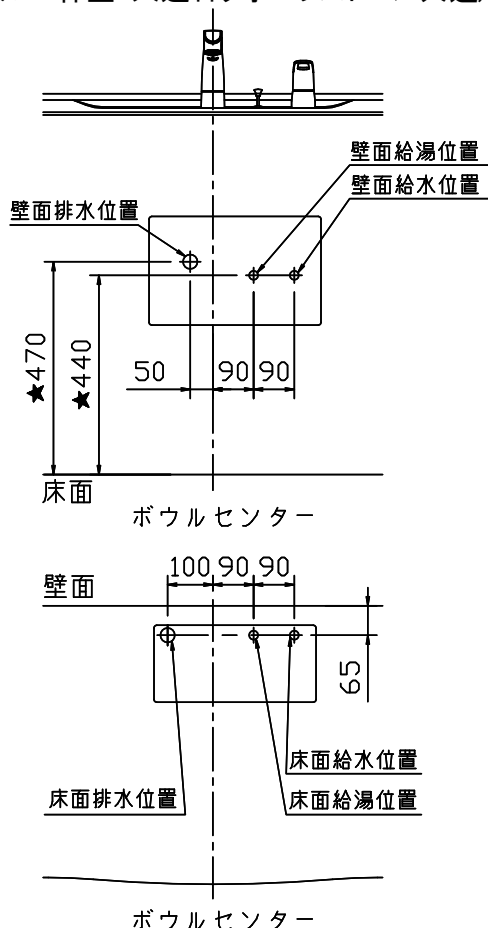
組立配管図

注1) 図はカウンター高さ80cmの場合の寸法です。カウンター高さ75cmの場合、★印の寸法は-50mmとなります。カウンター高さ85cmの場合、★印の寸法は+50mmとなります。

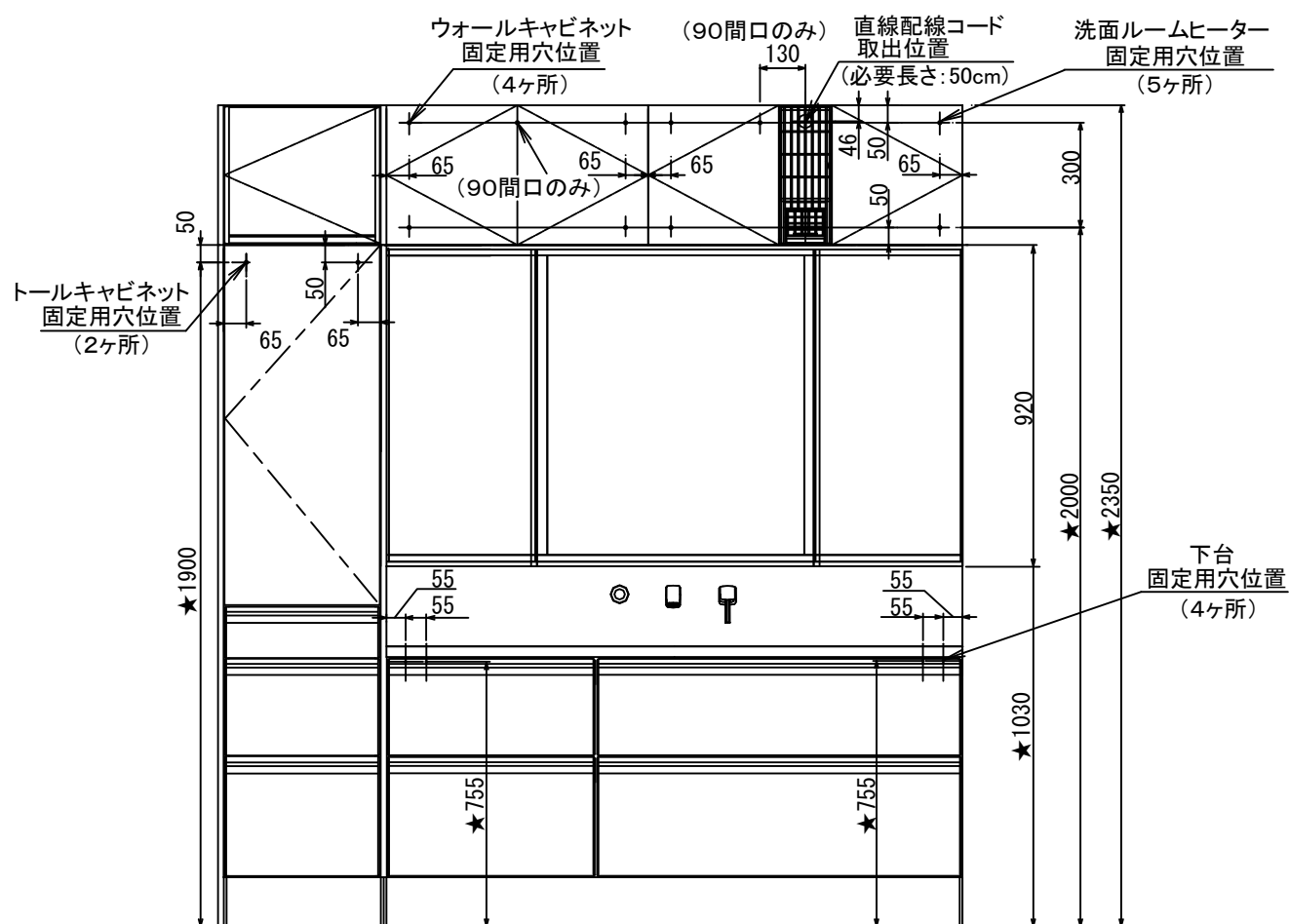
注2) 図中のコンセント取付可能範囲は、自動水栓の場合を示します。

●給排水位置およびコンセント取出付可能範囲

フラットカウンター
(ボウラー体型・人造石クォーツストーン共通)



●キャビネット壁面固定位置

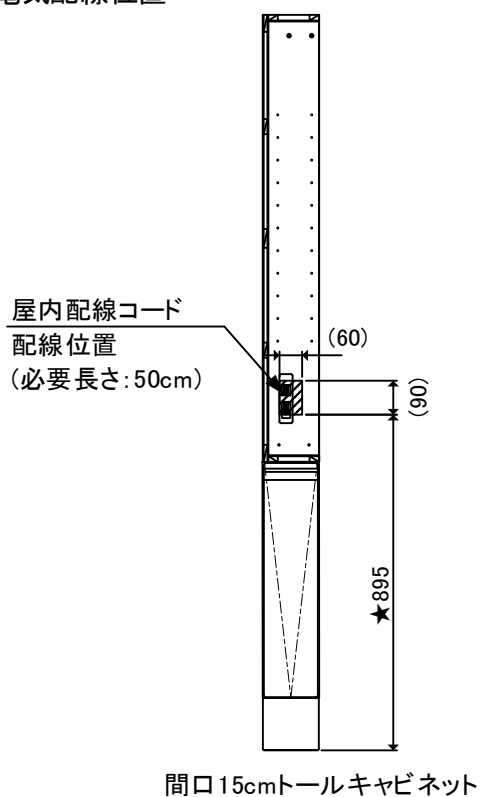


注) 図はカウンター高さ80cmの場合の寸法です。

カウンター高さ75cmの場合、★印の寸法は-50mmとなります。

カウンター高さ85cmの場合、★印の寸法は+50mmとなります。

●電氣配線位置



注) 図はカウンター高さ80cmの場合の寸法です。

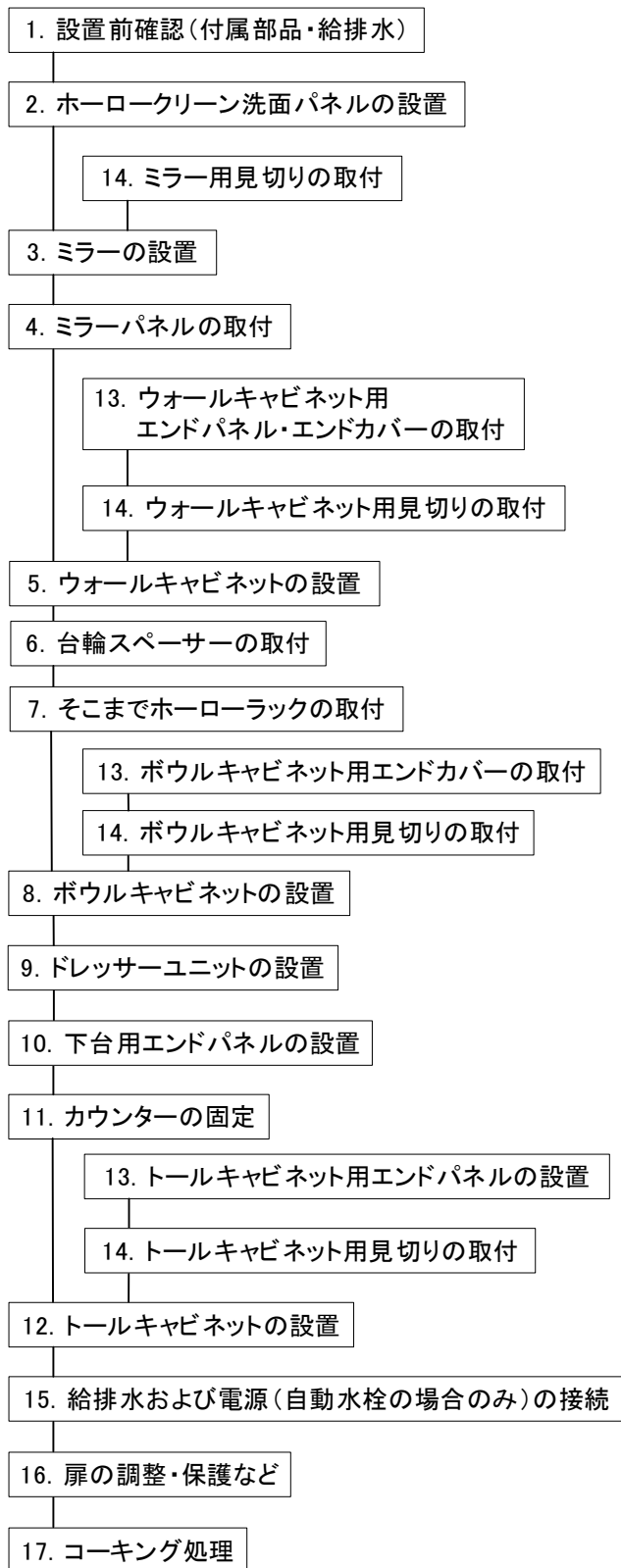
カウンター高さ75cmの場合、★印の寸法は-50mmとなります。

カウンター高さ85cmの場合、★印の寸法は+50mmとなります。

設置手順

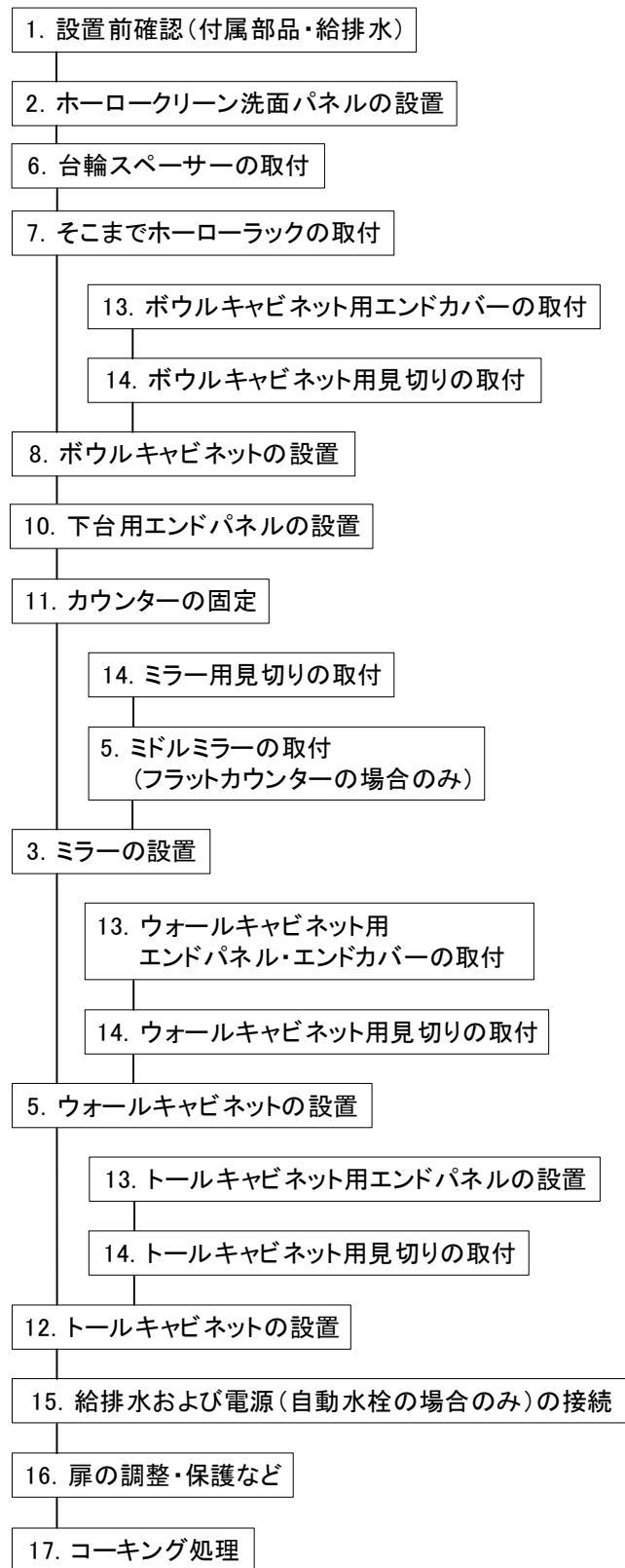
下記の手順に従って設置作業を進めてください

●フラットカウンターの場合 (ホーローミラーパネル設置時)



●フラットカウンターの場合 (ミドルミラー設置時)

●ハイバックカウンターの場合



1. 設置前確認(付属部品・給排水)

①付属部品が揃っているか確認してください。

※下記以外の商品については、それぞれに付属している設置説明書に基づいて確認してください。

カウンター	同梱部品	ポップアップツマミ (フラットカウンターの場合)	1個(ツインボウルの場合2個)
		バック排水管	1個(ツインボウルの場合2個)
		ケレップ	1個(ツインボウルの場合2個)
		Sトラップ	1個(ツインボウルの場合2個)
		防臭キャップ	1個(ツインボウルの場合2個)
		天板固定金具 ※P11参照 (クォーツカウンターの場合)	4個(ツインボウルの場合8個)
		連結ボルトM6x33 (クォーツカウンター・ツインボウルの場合)	2本
		連結ナットM6x19 (クォーツカウンター・ツインボウルの場合)	2本
		注意シール(クォーツカウンターの場合)	1枚
ボウルキャビネット	小物セット	取扱説明書	1部
		設置説明書(本紙)	1部
		トラスタッピンネジ4×50	4本
		トラスタッピンネジ4×14	6本
		ナイロンワッシャー	4枚
		扉保護クッション ※P26参照	6個
		前板補強金具 ※P27参照	4個
		レールカバー ※P27参照	8個
		ナベタッピンネジ4×12	4本
	同梱部品	側板スペーサー(透明 軟質塩ビ製) ※P10参照	6枚
ドレッサーユニット	小物セット	木製スペーサー(間口165～120cmのみ) ※P9参照	2個
		スペーサーU ※P9参照	3本
		トラスタッピンネジ4×14	8本
		穴塞ぎシール	4枚
		連結ボルトM6x28	2本
		連結ナットM6x19	2本
		前板補強金具 ※P27参照	1個
		レールカバー ※P27参照	2個
		ナベタッピンネジ4×12	1本
	同梱部品	扉裏収納	1個
エンドカバー	小物セット	仕切り板	75間口:3枚、60間口:2枚 45間口:1枚
		上段トレイ	1個
		下段トレイ	1個
		ネジ頭隠しシール	各色4枚ずつ
		固定金具1(SEC-FP*のみ) ※P18参照	3個
		固定金具2(SEC-FP*のみ) ※P18参照	2個
		押え金具(SEC-FP*のみ) ※P18参照	2個
		スペーサー(SEC-DP*のみ) ※P17参照	1個
		バインドタッピンネジ4x12 ワッシャー付 (SEC-FP*のみ)	3本
	同梱部品	皿タッピンネジ3×16	2本(SEC-FP*の場合) 4本(SEC-FP*以外の場合)
エンドパネル (トールキャビネット上台用)	小物セット	樹脂ナット(ウォールキャビネット用をのぞく)	2個(SEC-FP*の場合) 4個(SEC-DP*の場合)
		ソフトテープ(ウォールキャビネット用をのぞく)	1本
		両面テープ(ウォールキャビネット用をのぞく)	3本
	同梱部品	固定金具 ※P21参照	2本

エンドパネル (トールキャビネット下台用)	小物セット	トラスタッピンネジ4×25	8本
		皿タッピンネジ3.5×25	3本
	同梱部品	固定棧 ※P21参照	2本
		EP中棧 ※P21参照	1本
		エッジカバー(SEP-TDASAを除く)	1本
エンドパネル (ウォールキャビネット用)	小物セット	トラスタッピンネジ4×25	4本
		トラスタッピンネジ4×12	4本
	同梱部品	固定棧 ※P21参照	2本
間口23・30・45cm ホーロー扉タイプ トールキャビネット	小物セット	トラスタッピンネジ3.5×14	4本
		トラスタッピンネジ3.5×27	4本
		トラスタッピンネジ4.5×60	2本
		ナベタッピンネジ4×12	3本
		レールカバー ※P27参照	6本
		前板補強金具 ※P27参照	3個
間口30・45cm 姿見ミラータイプ トールキャビネット	小物セット	トラスタッピンネジ3.5×14	4本
		トラスタッピンネジ3.5×27	4本
		トラスタッピンネジ4.5×60	2本
間口15cm トールキャビネット	小物セット	トラスタッピンネジ3.5×27	2本
		トラスタッピンネジ3.5×60	2本
		皿タッピンネジ3.5×30	2本
		皿タッピンネジ3.5×35	4本
		L型棚受L/R	3個/3個
		丸型棚受	6個
		ネジキャップ座金	6個
		ネジキャップ	6個
		ネジ穴キャップ	2個
		バックアップテープ	1本
トールキャビネット用台輪	同梱部品	前固定アングル	1本
		台輪化粧板	1個
ウォールキャビネット	小物セット	トラスタッピンネジ3.5×27	3本
		トラスタッピンネジ4.5×60	5本
洗面ルームヒーター	小物セット	トラスタッピンネジ3.5×27	3本
		トラスタッピンネジ4.5×60	5本
	リモコンセット	リモコン	1個
		リモコンスペーサー	1本
	暖房涼風機小物セット	取扱説明書	1部
		設置説明書	1部
		皿タッピンネジ4×35	4本
		皿タッピンネジ4×12	4本
エンドパネル (下台用)	小物セット	座付ドリルネジ 4x35	2本
		座付ドリルネジ 4x30	2本
		ナイロンワッシャ	5枚
		皿タッピンネジ 3.5x35	3本
		ネジキャップ座金	3個
		ネジキャップ (ホワイト)	3個
		ネジキャップ (ブラック)	2個
		丸型スペーサー1	3個
		丸型スペーサー2	3個
	同梱部品	スペーサーU ※P12参照	3本(ハイバックタイプ:4本)
		両面テープ(ハイバックタイプのみ)	1本

見切り対応フィラー (洗面下台用)	同梱部品	カウンター用見切りキャップ(クォーツカウンター以外)	1個
		見切り部材(グレー)	1本
		見切り部材(白)	1本
		見切り部材(白・テープ付)	2本
		両面テープ(クォーツカウンター以外)	1本
	小物セット	トラスタッピンネジ3.5×14	5本
		スポンジテープ	1本
見切り対応フィラー (ウォールキャビネット用)	同梱部品	見切り部材L/R	1本/1本
	小物セット	トラスタッピンネジ3.5×14	5本
		スポンジテープ	1本
見切り対応フィラー (トールキャビネット用)	同梱部品	見切り部材(L=1176・白)	2本
		見切り部材(L=189・白)	1本
		見切り部材(グレー)	1本
		トラスタッピンネジ3.5×14	8本
	小物セット	スポンジテープ	1本

2. ホーロークリーン洗面パネルの設置

ホーロークリーン洗面パネルに付属の設置説明書にしたがってサイドパネルを取付けてください。

3. ミラーの設置

ミラーに付属の設置説明書にしたがってミラーを取付けてください。

4. ミラーパネル・ミドルミラーの取付

※フラットカウンター(ボウルー体型・人造石クォーツストーン)の場合のみ
ミラーパネル・ミドルミラーに付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

5. ウォールキャビネットの設置

※ウォールキャビネットを取付けない場合は不要

(1)キャビネットの下穴加工 ⇨ (2)エンドパネル・エンドカバーの取付 ⇨ (3)見切りの取付 ⇨
(4)キャビネットの設置

(1)キャビネットの下穴加工

- ①すべての扉をはずしてください。
- ②キャビネット背板の所定の位置にΦ5の穴を加工してください。(図5-1-1)
- ③連結するキャビネット側板のどちらか一方の所定の位置にΦ5の穴を加工してください。

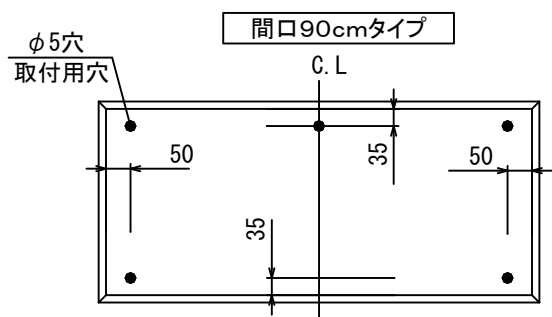


図5-1-1

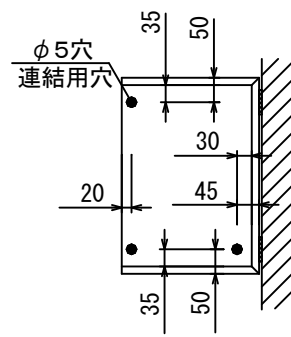
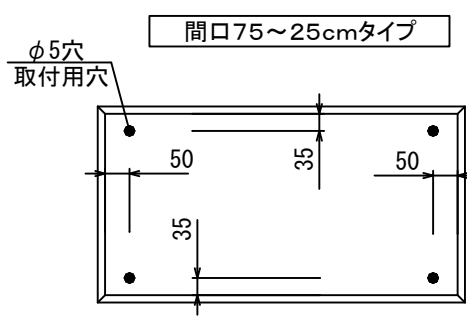


図5-1-2

(2)エンドカバーの取付

エンドカバーを取り付ける場合は、「13.エンドカバー・エンドパネル取付(P17)」を参照してください。

(3)見切りの取付

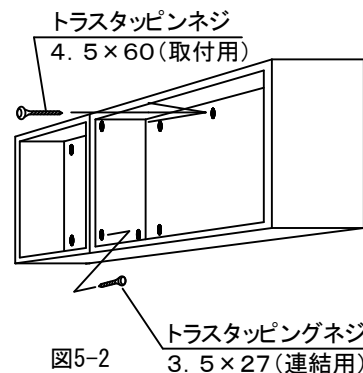
見切りを取り付ける場合は、「14. 見切りの取付(P22)」を参照してください。

(4)キャビネットの設置 (図5-2)

- ①キャビネットの設置位置を壁面に罫書いてください。
- ②設置位置の罫書き線にキャビネットをあてがい所定のネジで取付けてください。

ご注意:下地の木質檟にネジバカにならないようしっかり固定されていることを確認してください。

- ③連結穴より隣接するキャビネットの側板に所定のネジで連結してください。



6. 台輪スペーサーの取付

※台輪スペーサー取付の場合のみ

台輪スペーサー付属の設置説明書にしたがって台輪スペーサーを取付けてください。

7. そこまでホーローラックの取付

※そこまでホーローラック取付の場合のみ

そこまでホーローラック付属の設置説明書にしたがってホーローラックを取付けてください。

8. ボウルキャビネットの設置

(1)エンドカバー取付 ⇨ (2)見切りの取付 ⇨ (3)スペーサーUの取付 ⇨ (4)ボウルキャビネットの設置

(1)エンドカバー取付

エンドカバーを取付ける場合は、「13.エンドカバー・エンドパネルの取付(P17)」を参照してください。

(2)見切りの取付

見切りを取付ける場合は、「14.見切りの取付(P22)」を参照してください。

(3)スペーサーUの取付

下表にしたがって側板にスペーサーUを貼り付けてください。(図8-1)

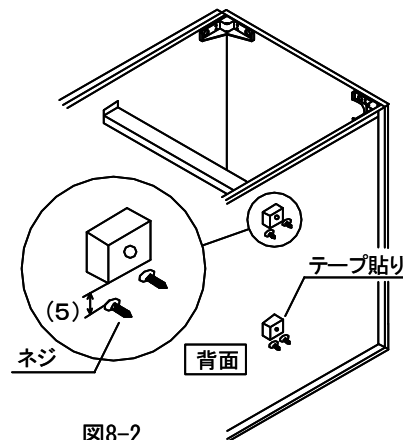
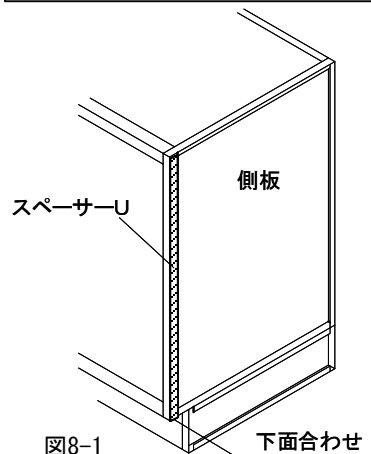
オープン側	エンドパネル・エンドカバー側の場合	スペーサーU 不要
クローズ側	躯体壁側の場合	スペーサーU 1枚
	ホーロークリーン洗面パネル側の場合	スペーサーU 2枚
	カウンター見切り仕様側の場合	スペーサーU 不要

ご注意:両側ホーロークリーン洗面パネルの場合、面側にスペーサーUを1枚ずつ貼り付けてください。

お願い:キャビネットを並べて設置する際、扉同士の隙間が小さくて接触する場合は適宜スペーサーUをはさんでください。

(4)ボウルキャビネットの設置

- ①すべての引出を取り外してください。(取扱説明書P6参照)
- ②ボウルキャビネット背面側に同梱部材の木製スペーサーを貼り付けてください。(図8-2)



- ③(ホーロー製ミラーパネル設置の場合のみ)
薄板 t2.5x40x40(現場手配)を取付けてください。(図8-3)

- ④ボウルキャビネットを設置位置に仮置きしてください。

ご注意: 床が水平でない場合には、すき間に詰め物をしてガタつきのないよう水平に設置してください。

- ⑤(ツインボウルカウンターの場合のみ)

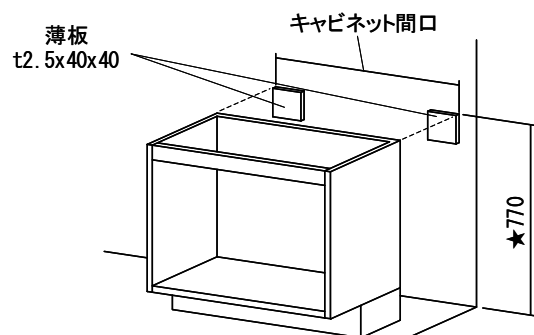
ボウルキャビネット同士をカウンターに同梱の連結ボルトとナットで連結してください。

- ⑥カウンター前下がり下面と裏貼材に段差(図8-4のA寸法)がある場合、段差寸法に合わせてキャビネット側板の上木口に下台に同梱部品の側板スペーサーを貼り付けてください。(図8-5)スペーサーの厚みは1枚当たり1mmです。

お願い: 下記箇所については⑥で寸法確認をして、必要な場合には作業をおこなってください。

- ・ボウルー体型アクリル人造大理石 ハイバックカウンターすべて
- ・ボウルー体型アクリル人造大理石 フラットカウンターすべて
- ・人造石クォーツストーンカウンター クローズエンド、ミキリエンド

※人造石クォーツストーンカウンターのオープンエンド側は不要。
人造石クォーツストーンの確認要・不要の見分け方は
下図(図8-6)参照。



カウンター高さ75cmの場合は★印寸法は-50mmとなる。
カウンター高さ85cmの場合は★印寸法は+50mmとなる。

図8-3

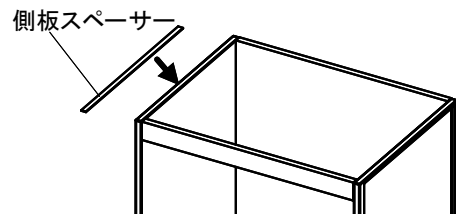
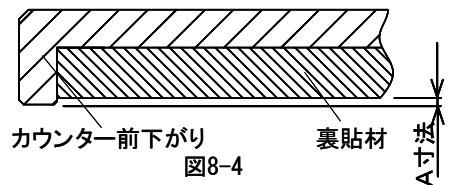
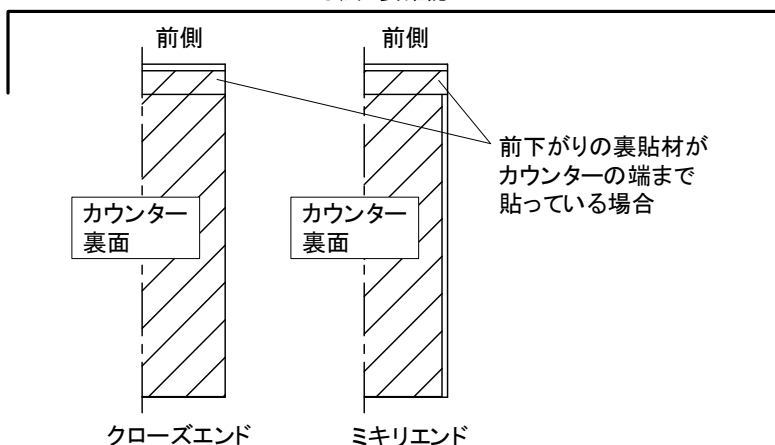


図8-5

A寸法 要確認

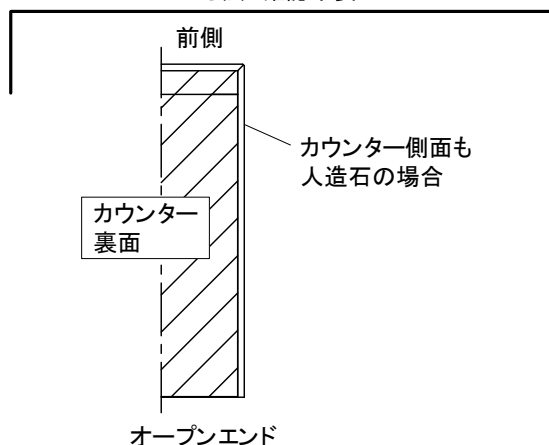


クローズエンド

ミキリエンド

前下がりの裏貼材が
カウンターの端まで
貼っている場合

A寸法 確認不要



オープンエンド

カウンター側面も
人造石の場合

図8-6

～ボウルー体型アクリル人造大理石(フラット・ハイバックカウンター)の場合～

- ⑦ボウルキャビネット奥側両端の隅補強を止めているネジ左右各1本をはずし、
その穴も含めた4箇所から所定のネジとワッシャーで壁面固定してください。(図8-7)

お願い: 壁面固定用ネジを打つ前にネジ穴にシリコンを塗布してください。

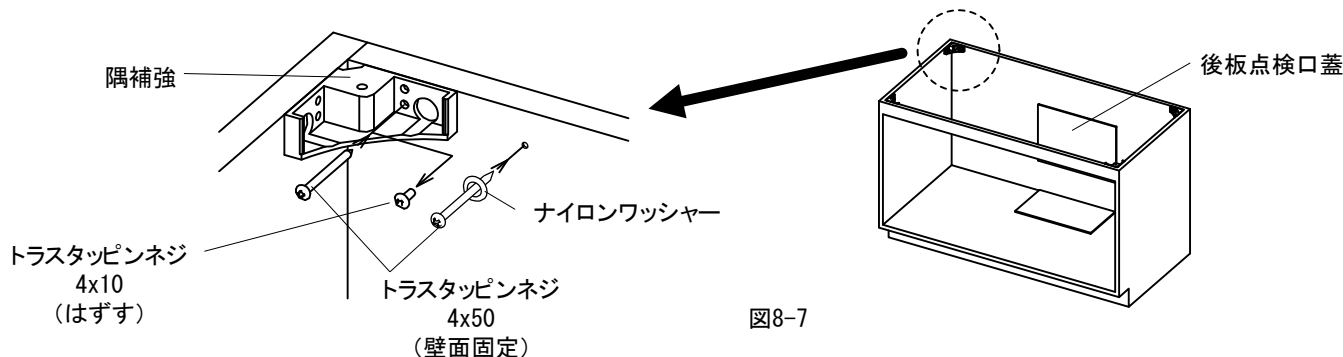


図8-7

～人造石クォーツストーンカウンターの場合～

- ⑦ボウルキャビネットの四隅すべての隅補強をはずしてください。(図8-8)
- ⑧隅補強を止めていた穴とその横の穴の計4箇所から所定のネジとワッシャーで壁面固定してください。(図8-9)
- ⑨隅補強を止めていたネジで天板固定金具4個をキャビネットに取り付けてください。(図8-10)

ご注意:天板固定金具の取付穴は長穴になっています。取り付ける際は金具が最も上になる位置で固定してください。(図8-11)

お願い:壁面固定用ネジを打つ前にネジ穴にシリコンを塗布してください。

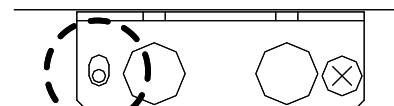


図8-11

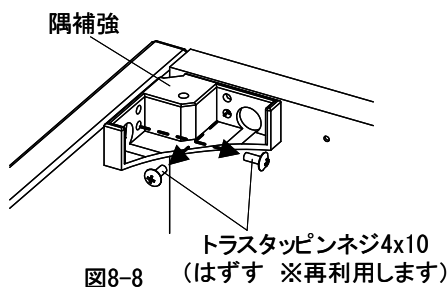


図8-8 (はずす ※再利用します)

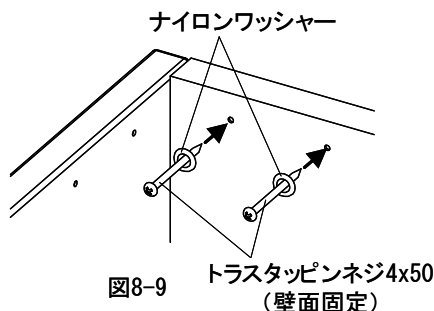


図8-9 トラスタップンネジ4x50 (壁面固定)

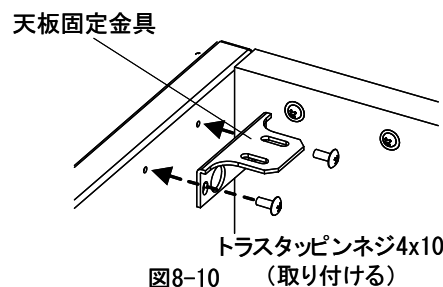


図8-10 トラスタップンネジ4x10 (取り付ける)

9. ドレッサーユニットの設置

※ドレッサータイプの場合のみ

(1)ドレッサー脚の取付 ⇨ (2)ドレッサーユニットの設置

(1)ドレッサー脚の取付

- ①ドレッサーユニットの引出を取り外してください。
- ②ドレッサー脚に所定のネジでL金具を取付けてください。(図9-1)
- ③ドレッサーユニットの後面、側面に合わせて所定のネジでドレッサー脚を取付けてください。(図9-2)

ご注意:間口15cmトールユニット横に設置する場合は、P19を参照してドレッサー脚の取付位置を決めてください。

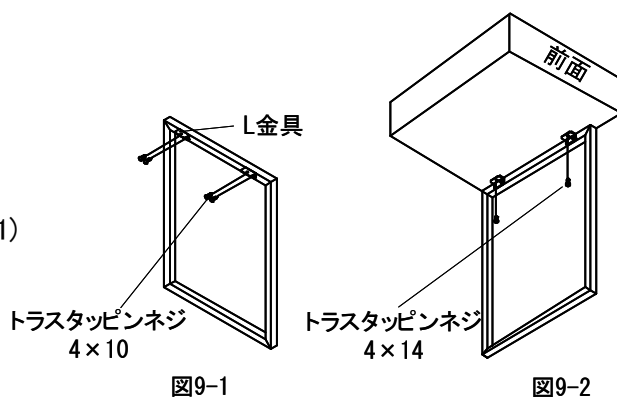


図9-1

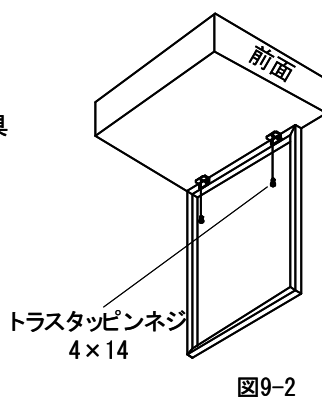


図9-2

(2)ドレッサーユニットの設置

- ①ドレッサーユニットのボウルキャビネット側の側面に穴を加工してください。(図9-3、9-4)
- ②ドレッサーユニットとボウルキャビネットを連結ボルトとナットで連結してください。(図9-5)

ご注意:ドレッサーユニット側にボルト、ボウルキャビネット側にナットをはめて連結してください。

- ③前ページ『8. (3)キャビネット設置⑥』にしたがって、段差寸法に合わせてドレッサーユニットの上木口に側板スペーサーを貼り付けてください。(図8-4・5・6)
- ④ドレッサー脚が床面に垂直になる位置で床に固定し、穴を穴塞ぎシールで隠してください。(図9-6)

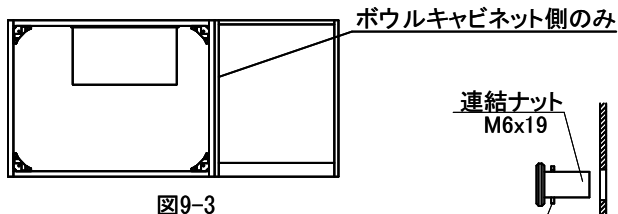


図9-3

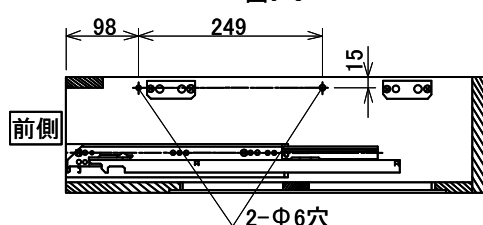


図9-4

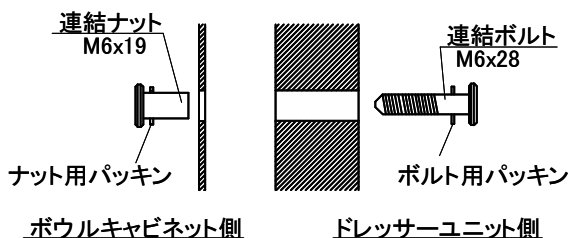


図9-5

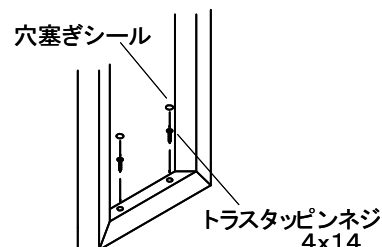


図9-6

10. 下台用エンドパネルの取付

- (1) スペーサーUの貼付け ⇨ (2) 丸型スペーサーの貼付け ⇨ (3) エンドパネルの固定 ⇨
 (4) 両面テープの貼付

(1) スペーサーUの貼付け

- ① スペーサーUを下記長さにカットしキャビネット側板・台輪に貼付けてください。(図10-1)

貼付け位置	スペーサー長さ		
	カウンター高さ 75cmの場合	カウンター高さ 80cmの場合	カウンター高さ 85cmの場合
A	630mm	630mm	630mm
B	88mm	138mm	188mm
C	510mm	510mm	510mm
D	715mm	765mm	815mm

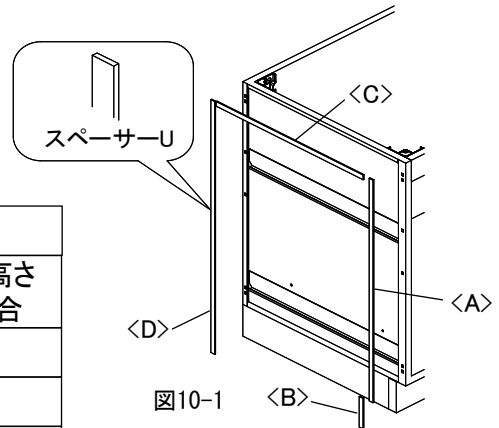


図10-1

(2) 丸型スペーサーの貼付け

- エンドパネル本体を固定するためのキャビネット側板の取付穴に合わせて、丸型スペーサーを貼付けてください。(図10-2)

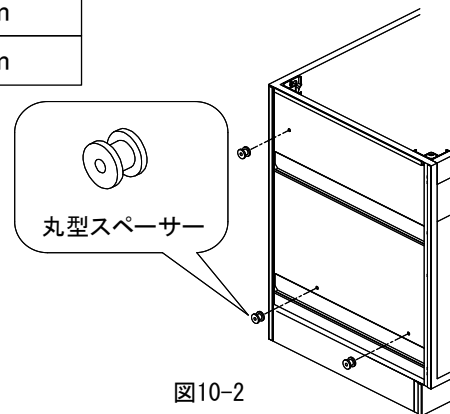


図10-2

(3) エンドパネルの固定

- ① ネジでエンドパネル本体を後壁に押しつけながら、キャビネットに固定してください。(図10-3)
 上2ヶ所: ワッシャを介して座付ドリルネジで固定してください。
 中1ヶ所・下2ヶ所: ネジキャップ座金を介して皿タッピンネジで固定してください。
 ② 皿タッピンネジにネジキャップを取付けてください。

ご注意: ネジが打ちにくい場合は、エンドパネル本体の内側に下穴加工(φ2.5以下)してください。

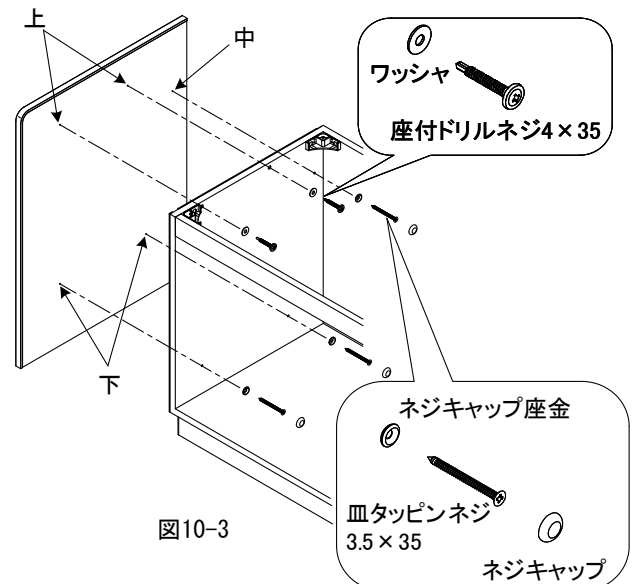


図10-3

(4) 両面テープの貼付 ※ハイバックカウンタータイプの場合のみ

- 両面テープを貼付けてください。(図10-4)

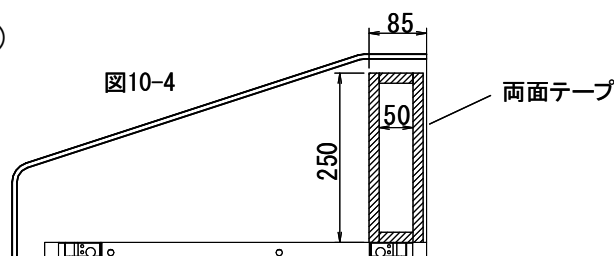


図10-4

11. カウンターの固定

(1)水栓の取付 ⇨ (2)排水部品の取付 ⇨ (3)カウンターの固定 ⇨ (4)バックガードの取付

(1)水栓の取付

水栓付属の説明書にしたがって水栓を取付けてください。

(2)排水部品の取付

ご注意:①②はフラットカウンター(人造石クォーツストーン・アクリル人造大理石)の場合のみ

①バック排水管のエルボを40mmカットしてください。

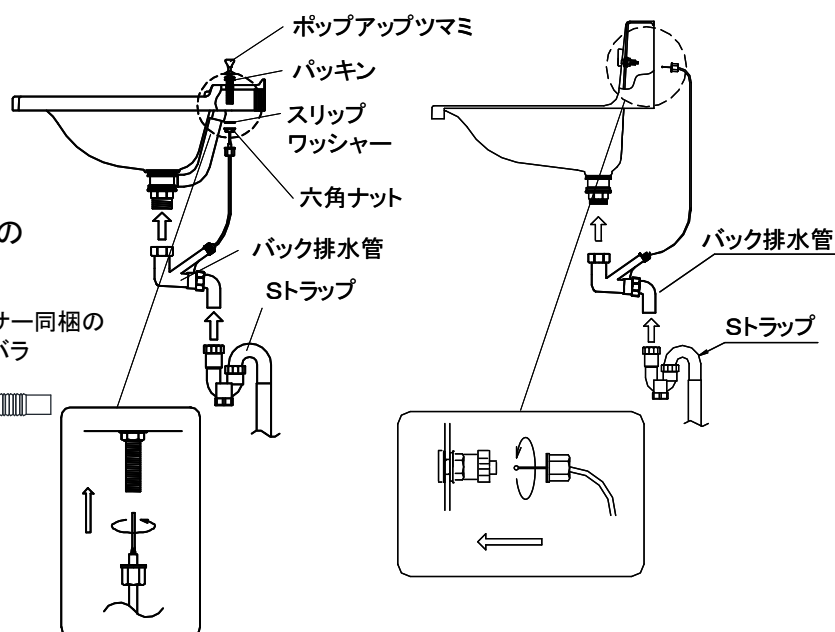
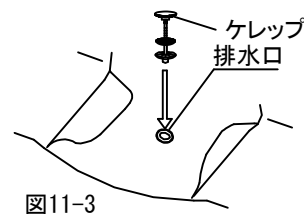
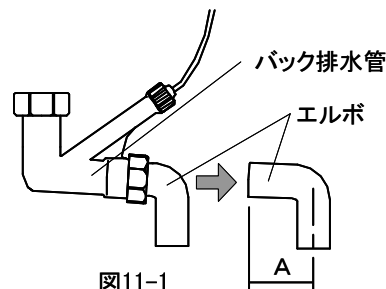
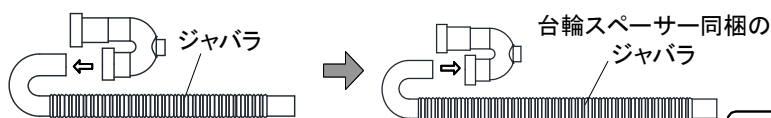
A寸法:125mm→85mm (図11-1)

②ポップアップツマミを取付けてください。(図11-2)

ご注意:排水部品を接続する際、工具は使わず手締めしてください。

③(カウンター高さ85cmの場合)

ストラップのジャバラ部分を台輪スペーサーに同梱のジャバラに付け替える。



④バック排水管およびストラップを取付けてください。

お願い

- ・バック排水管は正面から見て少しだけ右へ振った位置で固定してください。(オーバーフローホースとの干渉を避けるため)

(フラットカウンターの場合)

(ハイバックカウンターの場合)

⑤ポップアップツマミ又はポップアップスイッチに (人造石クォーツストーンカウンターの場合) バック排水管のワイヤーを接続してください。

図11-2

⑥ケレップをボウルの排水口に入れてください。(図11-3)

(3)カウンターの固定

①ボウルキャビネット四隅の隅補強(または天板固定金具)を介して トラスタッピンネジ 4×14 所定のネジでカウンターを固定してください。(図11-4)

お願い

- ・ツインボウルカウンターは、左右両端とセンター付近の計6箇所固定してください。(図11-5)
- ・下台用エンドパネルを設置している場合は、カウンターを下台用エンドパネルに密着させてください。

②(間口100cm以上のキャビネットのみ)

キャビネットの下桟からカウンター裏貼材に向かってネジを打ってください。(図11-6)

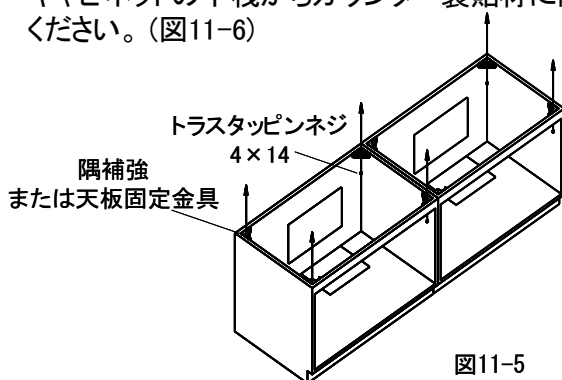


図11-5

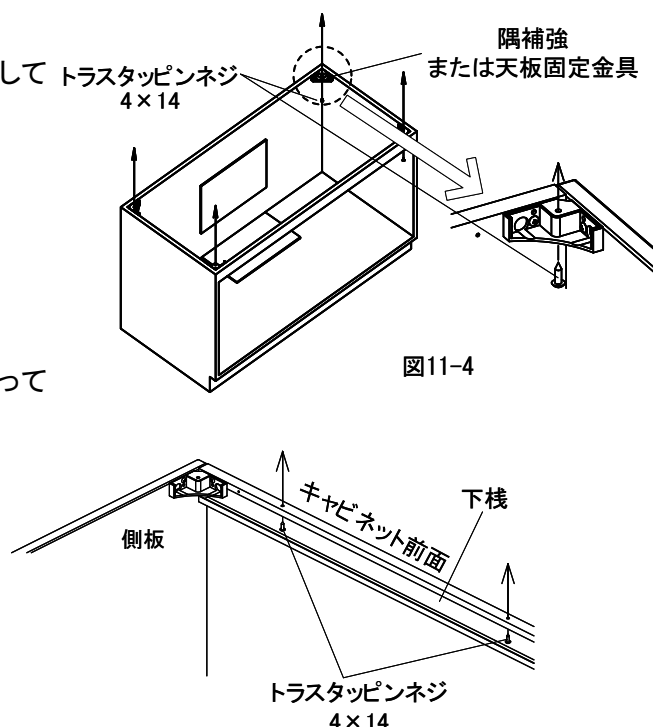


図11-4

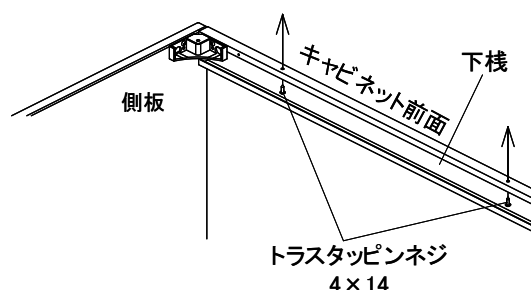


図11-6

～ドレッサータイプの場合～

③ドレッサーユニットの底板を取り外してください。(図11-7)

④ボウルキャビネット4隅の天板固定金具
(または隅補強)を介して所定のネジで
カウンターを固定してください。(図11-8)

ご注意:ドレッサーユニットの両側にL金具が
取付いていますが、エンド側のみネジ
打ちしてください。(図11-8)

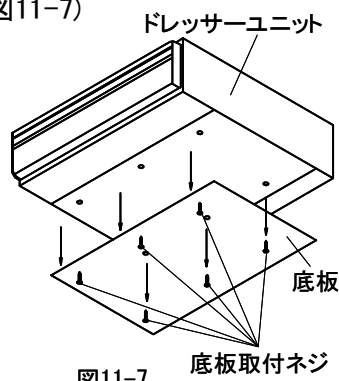


図11-7

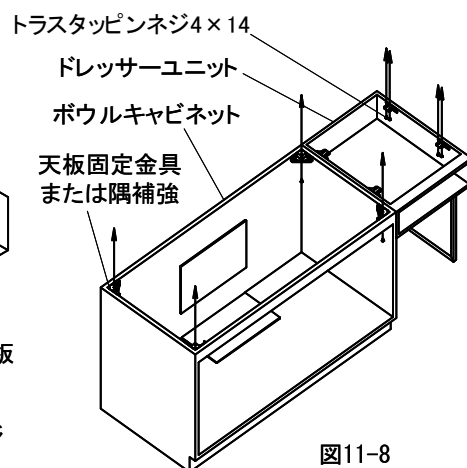


図11-8

⑤ドレッサーユニットの底板を元の位置に
取付けてください。

(4)バックガードの取付 ※人造石クォーツストーンカウンターの場合のみ必要な作業です

①バックガード表面とカウンター取付面に養生テープを貼ってください。(図11-9)

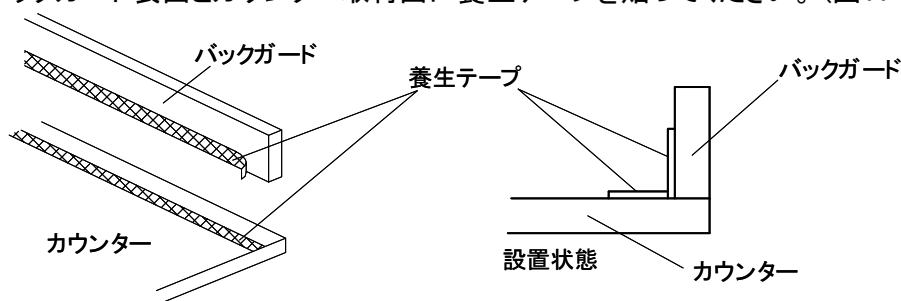


図11-9

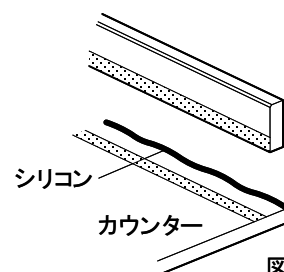


図11-10

②カウンターと壁との接続部分にシリコンコーキングを行ってください。(図11-10)

ご注意:シリコンコーキングは止水の為です。



カウンターと壁との間に隙間があると漏水の原因になる
おそれがあります。

③バックガード下部と裏面にシリコンを間隔25cm、長さ5cm程度で塗布し、
その間に瞬間接着剤を数滴点付けしカウンターに接着してください。(図11-11)

ご注意:バックガード裏面から上部にシリコンがはみ出すのを
防ぐため、裏面には上端よりやや下に塗布してください。

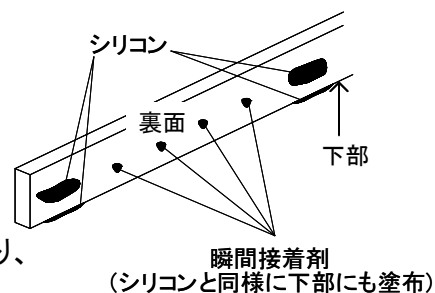


図11-11

④瞬間接着剤が硬化するまで強く押えてください。

⑤バックガードとカウンター取付面の間からはみ出したシリコンをきれいにふき取り、
再度シリコンでコーキングしてください。(図11-12)

ご注意:・濃色系のカウンターの場合、必ず透明のシリコンを使用してください。
・コーキングの仕上げは図のように内Rをつけてください。

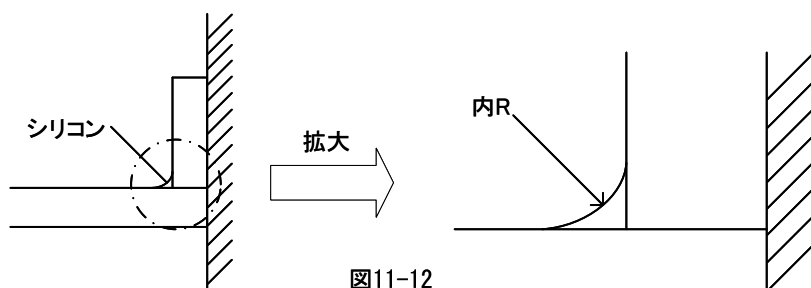


図11-12

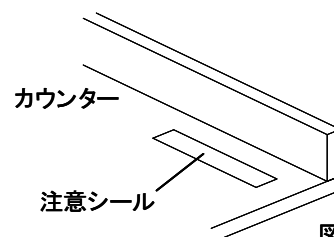


図11-13

⑥カウンターに同梱している注意シールをカウンター右奥に貼り付けてください。(図11-13)

ご注意:注意シールの貼付け面は十分に清掃してください。

12. トールキャビネットの設置

※トールキャビネットを取付けない場合は不要

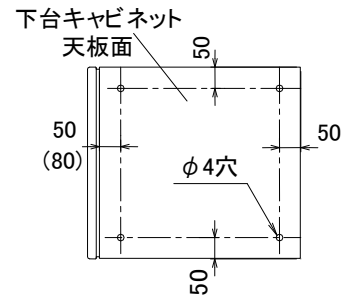
- (1)キャビネット加工 ⇨ (2)台輪の取付 ⇨
 (3)エンドカバー・エンドパネルの取付 ⇨ (4)台輪化粧板の取付 ⇨
 (5)見切りの取付 ⇨ (6)キャビネットの設置 ⇨ (7)直結配線工事

(1)キャビネット加工

<間口23、30、45cmの場合>

※下台キャビネットと中台キャビネットのみでご使用の場合は②④の作業は不要です。

- ①すべての扉・引出をとりはずしてください。
- ②下台キャビネットの天板の所定位置に下穴(φ4穴)を加工してください。(図12-1)
- ③下台キャビネットの後板の所定位置に下穴(φ5穴)を加工してください。(図12-2)
- ④下台キャビネットに上台キャビネットをのせ、下台キャビネットの天板に加工した下穴からネジ(トラスネジ3.5×27)で連結してください。(図12-3)



※()寸法は耐震ラッチが干渉する場合
図12-1

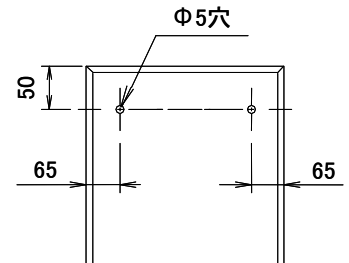


図12-2

<間口15cmの場合>

※下台キャビネットと中台キャビネットのみでご使用の場合は

③ ⑥の作業は不要です。

- ①下台キャビネットの引出を取りはずしてください。
- ②下台キャビネットの天板の所定位置に下穴(φ4穴)を加工してください。(図12-4)
- ③中台キャビネットの天板の所定位置に下穴(φ4穴)を加工してください。(図12-4)
- ④付属のバックアップテープを中台キャビネット背面のミラーパネル側に取付けてください。(図12-5)
- ⑤下台キャビネットに中台キャビネットをのせ、下台キャビネットの天板に加工した下穴からネジ(トラスネジ3.5×27)で連結してください。(図12-6)
- ⑥中台キャビネットに上台キャビネットをのせ、中台キャビネットの天板に加工した下穴からネジ(皿タッピンネジ3.5×30)にネジキャップ座金を通して連結してください。(図12-6)
- ⑦ネジキャップ座金にネジキャップをはめ込んでください。(図12-6)

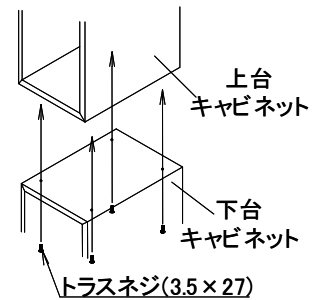


図12-3

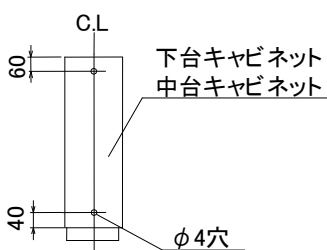


図12-4

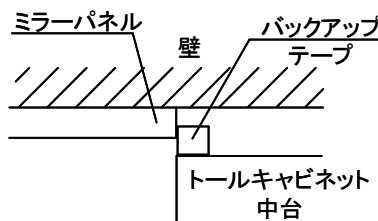


図12-5

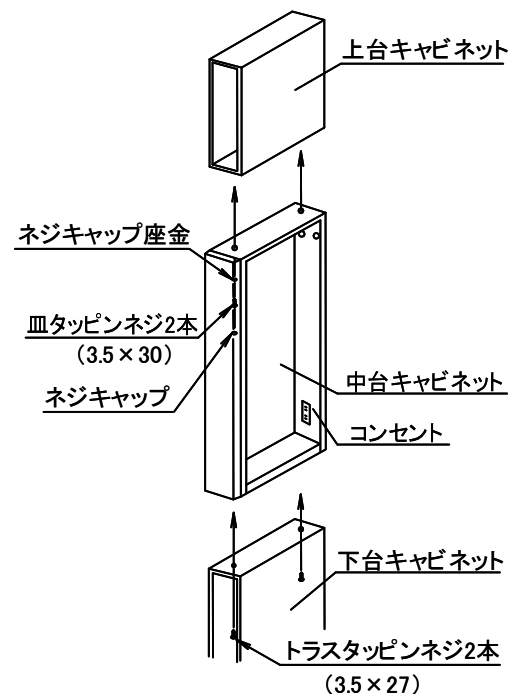


図12-6

(2)台輪の取付

トールユニットに付属のトラスタッピンネジ(3.5×14)4本で本体キャビネットに組付けてください。(図12-7)

ご注意: 両側を3mmずつあけて左右均等に取付けてください。

(3)エンドカバー・エンドパネルの取付

エンドカバーやエンドパネルを取付ける場合は、「13.エンドカバー・エンドパネルの取付(P17)」を参照してください。

(4)台輪化粧板の取付

洗面下台がフロートタイプの場合は、「台輪化粧板の取付(P19)」を参照してください。

(5)見切りの取付

見切りを取付ける場合は、「14.見切りの取付(P22)」を参照してください。

(6)キャビネットの設置

<間口23、30、45cmの場合>

①下台を所定の位置に設置してください。

ご注意: 床が水平でない場合には、すき間に詰め物をしてガタつきのないように設置してください。

②下台背板の壁面取付下穴より所定のネジで壁面に固定してください。

(図12-8)

③洗面下台とトールキャビネットの間にエンドパネルを取付けた場合は、トールキャビネット用台輪に付属の前固定アングルを取付けてください。

(図12-9)

※カウンター高さに合わせて前固定アングルをカットしてから取付けてください。

高さ85cmの場合: カット不要

高さ80cmの場合: 50mmカット

高さ75cmの場合: 100mmカット

④扉・引出を元通りセットしてください。

<間口15cmの場合>

①コンセントプレートをマイナスドライバーではずしてください。(図12-10)

②コンセント取付枠のネジをはずし、取付枠を手前に引き出してください。

(図12-11,12)

③屋内配線コードをコンセント取付部の開口から引き出してください(図12-13)

④中台キャビネットの背板上方の壁面取付け用下穴よりネジ

(トラスタッピンネジ3.5×60)2本で横木に固定してください。(図12-14)

⑤④の下穴にネジ穴キャップをはめ込んでください。(図12-14)

⑥棚板を設置してください。(取扱説明書P6参照)

⑦下台キャビネットの扉を元通りにセットしてください。

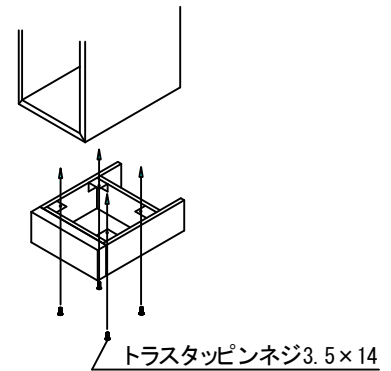


図12-7

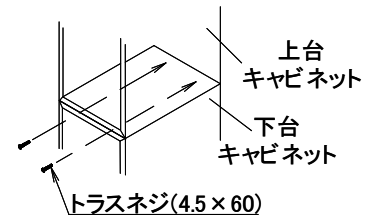


図12-8

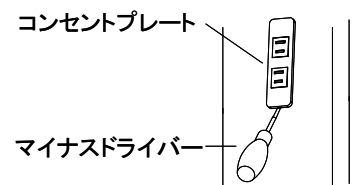
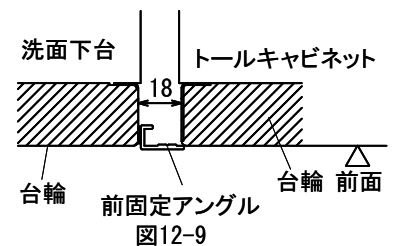


図12-10

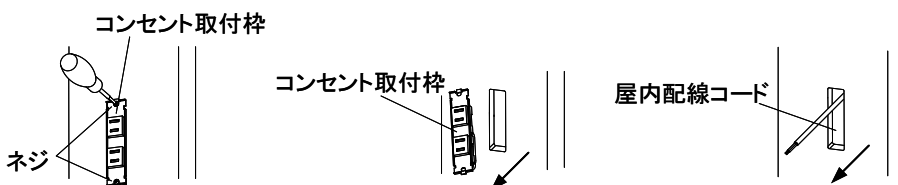


図12-11

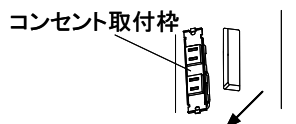


図12-12

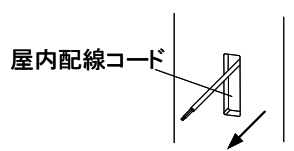


図12-13

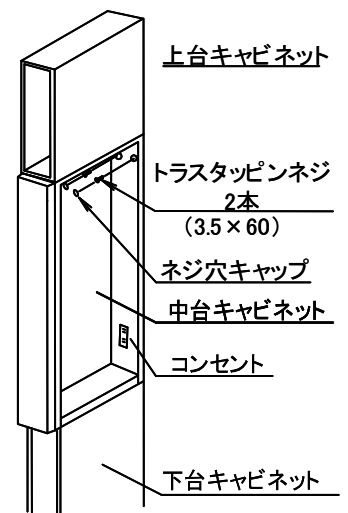


図12-14

(7) 直結配線工事

※間口23、30、45cmの場合は不要です。

- ①屋内配線コードの先端の被覆を16mmむいてください。(図12-15)
(適合電線VVFケーブルφ1.6または2.0単線)

ご注意:・屋内配線コードの被覆は、適正量むかないと接触不良やショートのおそれがあります。
・配線加工は、必ず「有資格者」が行ってください。

- ②屋内配線コードをコンセント取付枠裏面の接続穴に直角に奥まで確実に差し込みます。
(一度引っ張り、接続の確認をしてください。)(図12-16)

ご注意:・屋内配線コードの被覆は、極性に注意して導体が露出しないようにコンセントの奥までしっかり差し込んでください。
・屋内配線を差し込んだ後、一度引っ張り接続の確認をしてください。

- ③コンセント取付枠とコンセントプレートを用意に収めてください。
(図12-17)

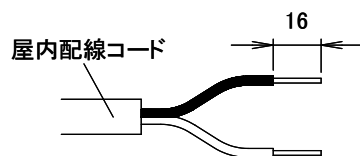


図12-15

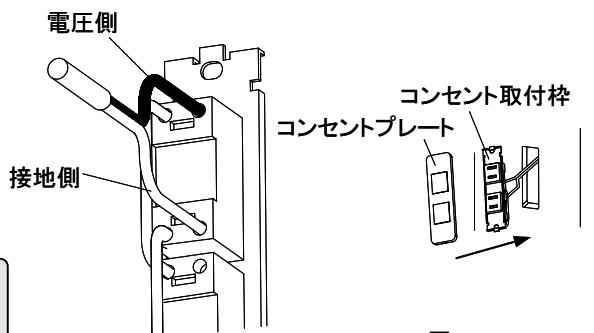


図12-16

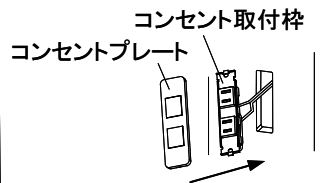


図12-17

13. エンドカバー・トールキャビネット用エンドパネルの取付

～下台用エンドカバーの場合～

(1)下台用エンドカバー取付前の準備

- ①図にならって樹脂ナットを角穴に取付けてください。(図13-1)
- ②キャビネットの補強枠にソフトテープを貼り付けてください。
(図13-1)
- ③貼付面(側板折曲部分)のほこりなどをふき取ってください。
- ④端から3mm内側のホーロー面に付属の両面テープを貼付けてください。(図13-1)
- ⑤テープ離型紙の上から十分に押さえつけて確実に貼り付けてください。
- ⑥(ドレッサーユニット横の場合のみ)
図にならってスペーサーを貼り付けてください。(図13-1)

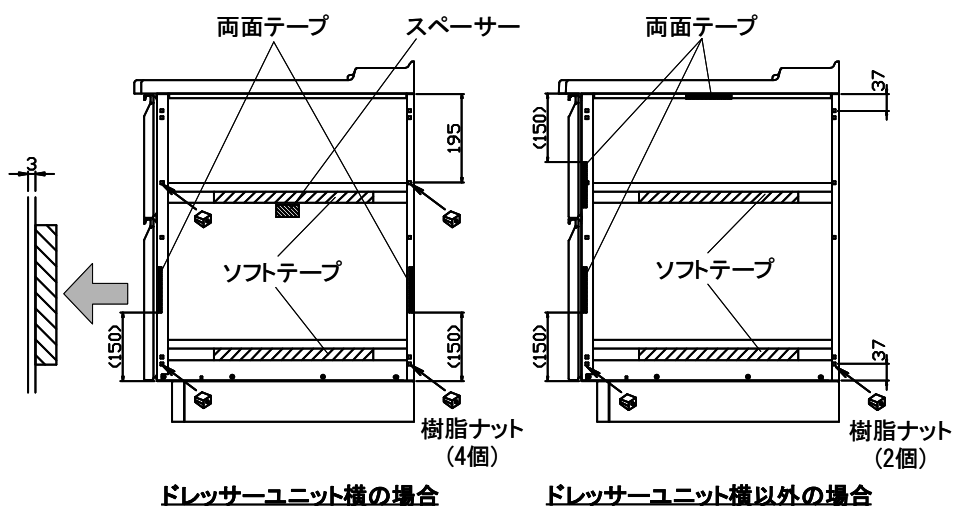


図13-1 ベースキャビネット

(2)エンドカバー取付

[ドレッサーユニット横の場合]

- ①貼付面(エンドカバー裏側)のほこりなどをふき取ってください。
- ②側板に貼付けた両面テープの離型紙をはがしてください。
- ③キャビネット側板の下部および後方部に合わせてエンドカバーを貼付けてください。
- ④両面テープ位置をエンドカバーの上からよく押さえつけて確実に貼付けてください。
- ⑤所定のネジ4本で樹脂ナットにネジ打ちし、ネジ頭隠しシールを貼付けてください。(図13-2)

ご注意: エンドカバーをキャビネットに取り付ける際は、ハンドドライバーを使用してください。

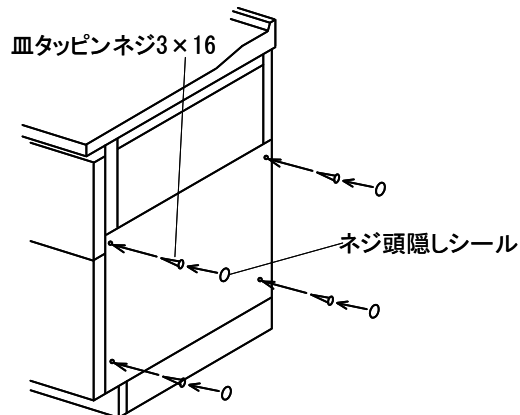
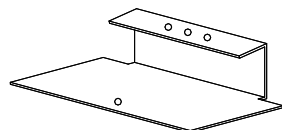


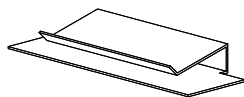
図13-2

[ドレッサーユニット横以外の場合]

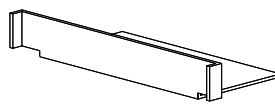
部品名称と形状の紹介



固定金具1



固定金具2



押え金具

- ① 固定金具1をエンドカバーの曲げ部に差込み、お手持ちのテープ(マスキングテープなど)で仮固定してください。(図13-3・4)

ご注意

- ・金具にネジを打つまでの仮止めテープです。ネジ打ち時にはがれない程度のテープで貼付けてください。
- ・金具固定用テープは同梱されていません。お手持ちのテープを使用してください。

- ② 固定金具2をエンドカバーの曲げ部に差込み、押え金具で固定してください。(図13-3・5)

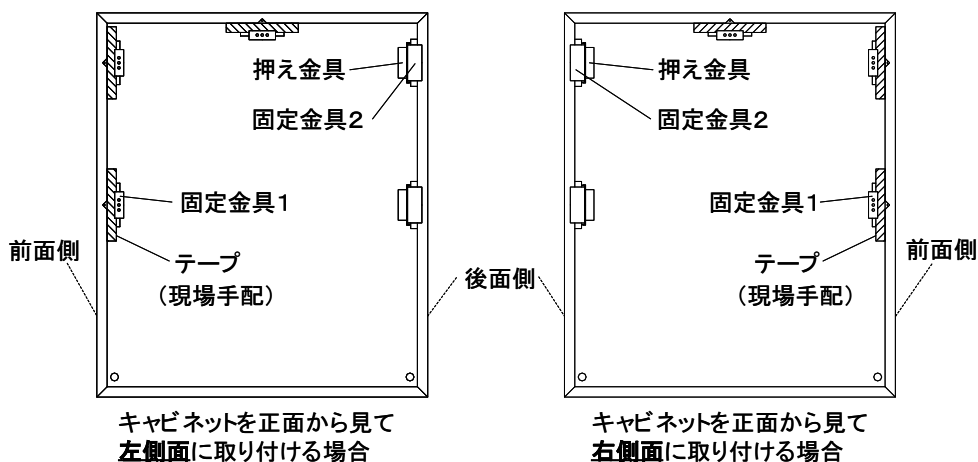


図13-3

- ③ 貼付面(エンドカバー裏側)のほこりなどをふき取ってください。

- ④ ボウルキャビネットの側板に貼付けた両面テープの離型紙をはがしてください。

- ⑤ 固定金具2をキャビネット側板後部のフランジに差し込み、側板とエンドカバーの前面を揃えてください。(図13-6・7)

- ⑥ 皿タッピンネジ2本を樹脂ナットに打ってエンドカバーを固定してください。(図13-8)

ご注意: エンドカバーをキャビネットに取り付ける際は、ハンドドライバーを使用してください。

- ⑦ キャビネット内側からバインドタッピンネジ3本を固定金具1に打ってエンドカバーを固定してください。(図13-8)

- ⑧ 両面テープ位置をエンドカバーの上からよく押さえつけてしっかり貼付けてください。

- ⑨ 皿タッピンネジにエンドカバーに合った色のネジ頭隠しシールを貼付けてください。(図13-8)

固定金具1 取付部

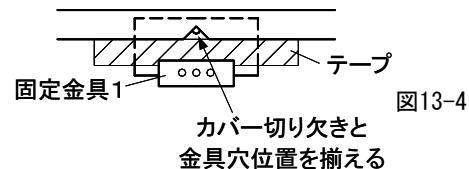


図13-4

固定金具2 取付部

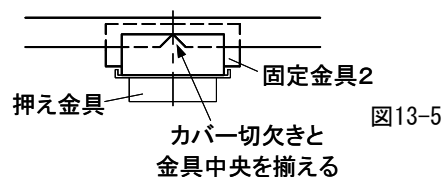


図13-5

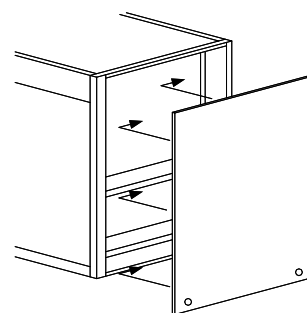


図13-6

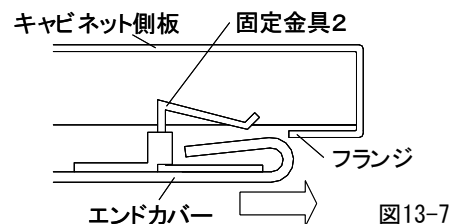


図13-7

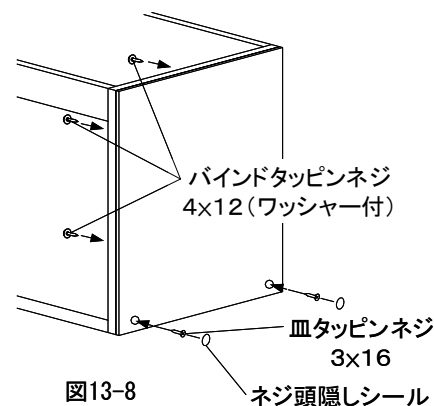


図13-8

～ウォールキャビネット用エンドカバーの場合～

- ①エンドカバーを吊戸本体の基準面(背面と底面)に合わせ、四隅の取付穴をけがいてください。(図13-4)
- ②①でけがいた箇所にΦ1.5の穴(深さ5mm程度)をあけてください。
- ③所定のネジでエンドカバーを固定し、ネジ頭隠しシールを貼付けてください。

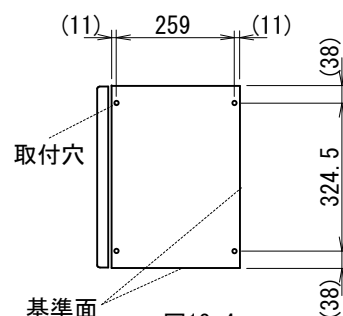


図13-4

～トールキャビネット(間口15cm)用エンドカバー場合～

ドレッサーユニットの横に間口15cmトールキャビネットが設置される場合、下記にしたがって斜線部に化粧部材(エンドカバー・台輪化粧板)を設置してください。(図13-5)

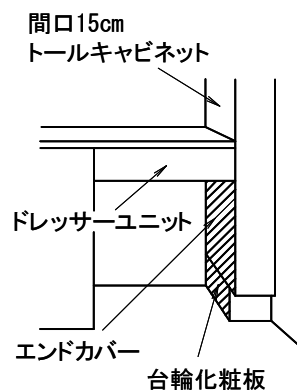


図13-5

(1)台輪化粧板の取付

※台輪化粧板は台輪に同梱しています。

- ①(カウンター高さ75cmの場合のみ)台輪化粧板を上側から90mmのところでカットしてください。

ご注意: 台輪化粧板には上下がありますので、カットする方向に注意してください。(図13-6のように両面テープが無い側をカットしてください)

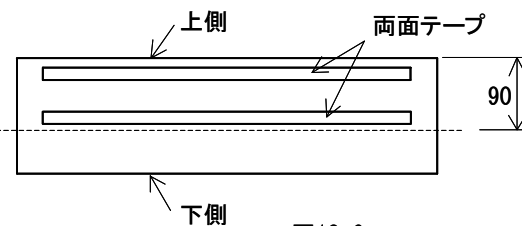


図13-6

- ②トールキャビネット台輪の下面、後面に合わせて台輪化粧板を貼付けてください。
カウンター高さ75cmの場合は、①のカット面が下になるように貼付けてください。
(図13-7)

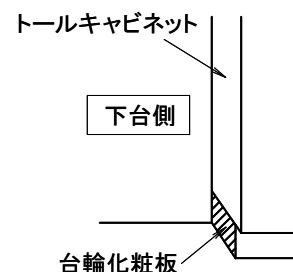


図13-7

(2)エンドカバーの取付

- ①トールキャビネット側板の所定の位置にΦ1.5の穴(深さ5mm程度)を加工してください。(図13-8)
- ②所定のネジでエンドカバーを固定し、ネジ頭隠しシールを貼付けてください。(図13-9)

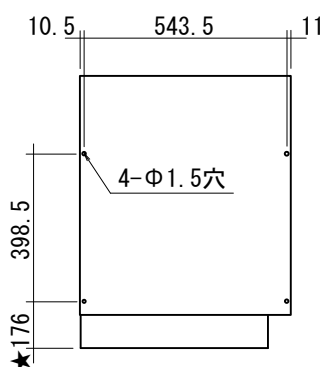


図13-8

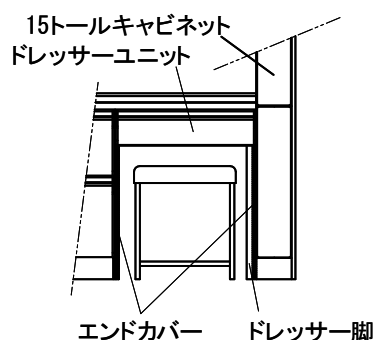


図13-9

注) 図はカウンター高さ80cmの場合の寸法です。

カウンター高さ75cmの場合、★印の寸法は-50mmとなります。

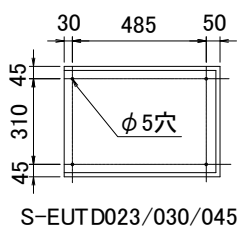
カウンター高さ85cmの場合、★印の寸法は+50mmとなります。

～トールキャビネット用エンドパネルの場合～

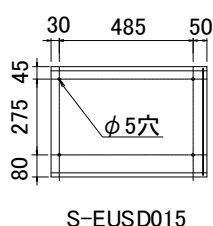
①トールキャビネット側面の所定の位置にΦ5の穴を加工してください。(図13-10)

なお、トールキャビネット下台用エンドパネルを取付ける場合、キャビネット側面の所定の位置にEP中棧を取付けてください。(図13-11)

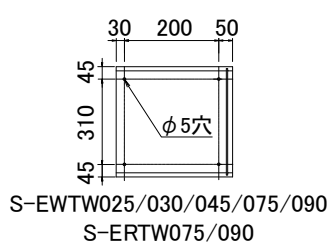
エンドパネル品名	設置対象	EP中棧の長さ
SEP-TUAタイプ	トールキャビネット上台	なし
SEP-TDA85～75タイプ	トールキャビネット下台(カウンター高さ85～75cm用)	1600
SEP-TDASタイプ	〃 (キャビネット隣接側用)	1200
SEP-TUWタイプ	ウォールキャビネット・洗面ルームヒーター	なし



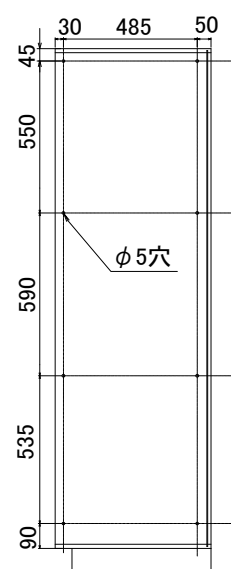
S-EUTD023/030/045



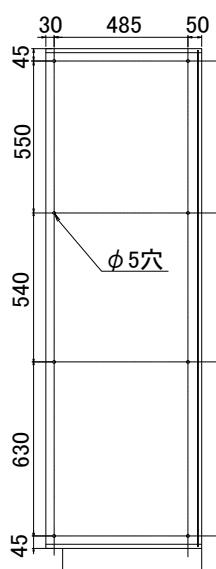
S-EUSD015



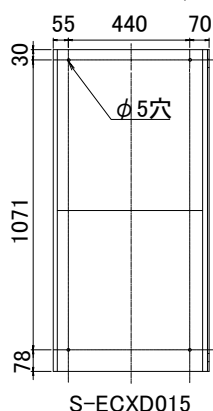
S-EWTW025/030/045/075/090
S-ERTW075/090



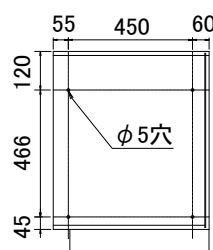
S-ETDD023/030/045



ST-DK30/45



S-ECXD015



S-EDSD015

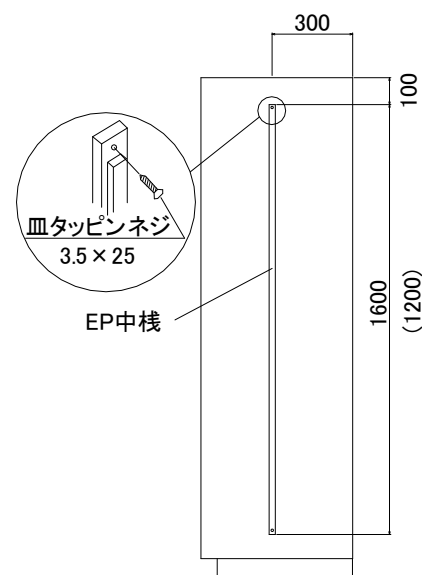


図13-11

図13-10

②エッジカバーの取付

床面に接して設置するエンドパネルの場合、エッジカバーをパネルの前側下部に差し込んでください。(図13-12)

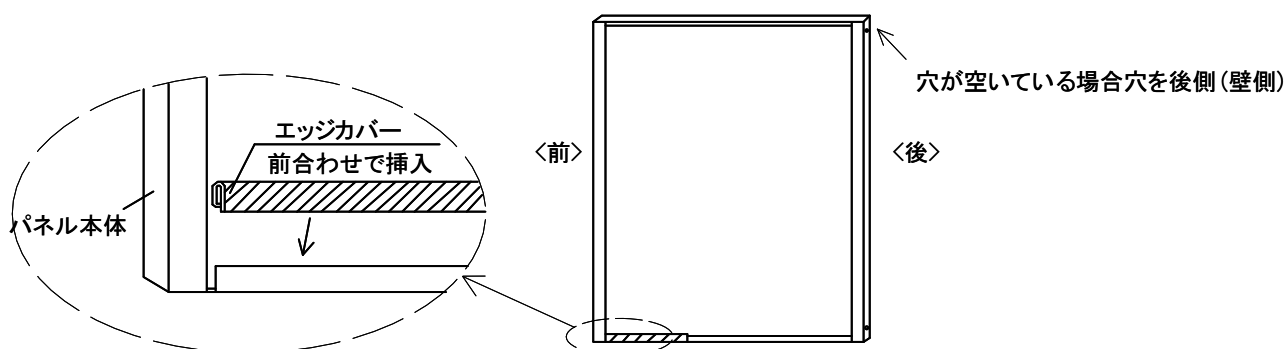


図13-12

ご注意: エッジカバーを取付けるパネルは上下対称です。
パネルをキャビネットの左右どちらに取付けるかを確認してから取付けてください。

③EP固定棧の取付

EP固定棧をパネル本体の前後に下合わせで挿入してください。(図13-13)

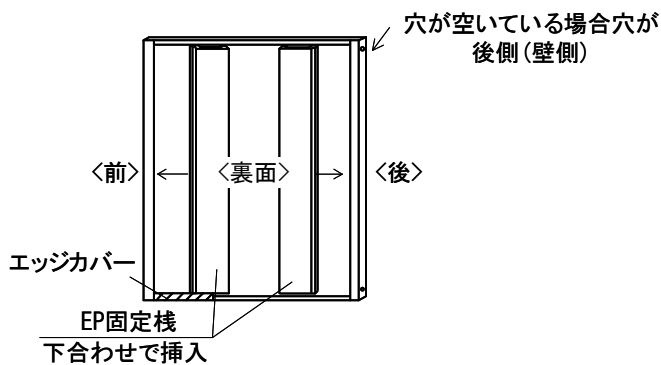


図13-13

④エンドパネルをキャビネット後面合わせで、キャビネットの内側から所定のネジで固定してください。

間口15cm中台の場合は、ネジキャップ座金を通してネジを打ち、ネジキャップをはめ込んでください。(図13-14)

※ネジキャップとその座金は、中台に同梱品を使用してください。

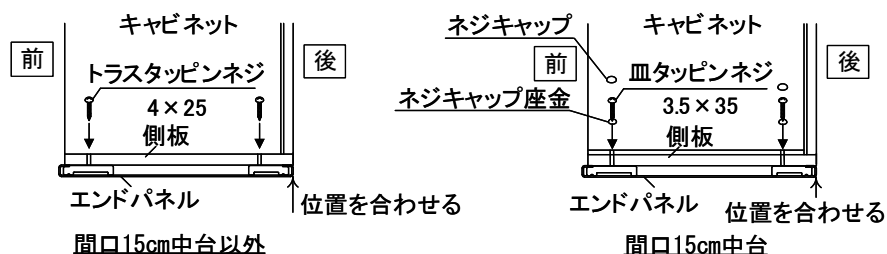


図13-14

トールキャビネット用エンドパネルに隣接してキャビネットを設置する場合

エンドパネルの凹凸矯正用のEP中棧を、キャビネットの中央に取付けています。隣接して設置するキャビネットとの間にスキが発生して設置できない場合は、次の方法でパネルの反りを矯正してください。(図13-15)

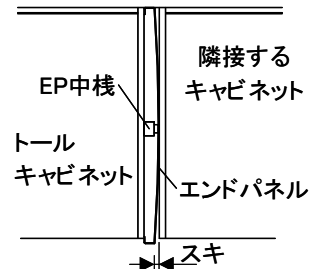


図13-15

①隣接するキャビネットで隠れる箇所にφ6～6.5の穴を加工してください。(図13-16)

②加工した穴にシリコンで防錆処理を施してください。

③加工した穴からネジ（皿タッピンネジ3.5×25）を打って、パネルの反りを矯正してください。

（ネジ頭が出っ張らないように調整してください。)(図13-17)

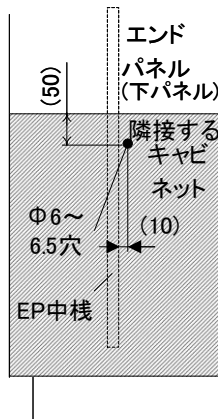


図13-16

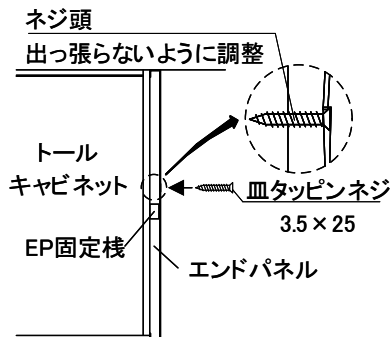


図13-17

14. 見切りの取付

(1)ウォールキャビネット用見切り部材の取付方法

ご注意: 見切り部材(L=900mm)は左勝手と右勝手の2種類ありますのでご注意ください。吊戸の右側面に取付ける場合は1を左側面に取付ける場合は2をご覧ください。

～1. ウォールキャビネット右側面に取付ける場合～

①2種類の見切り部材を所定の長さにカットしてください。(図14-1)

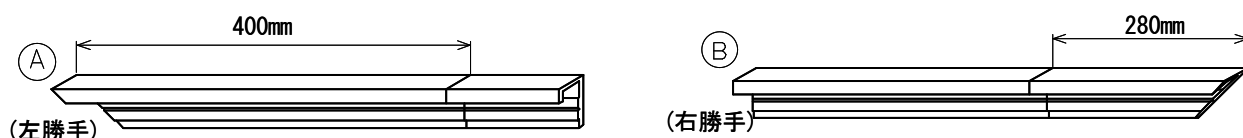


図14-1

②見切り部材の所定の位置にΦ4の穴を加工してください。(図14-2)

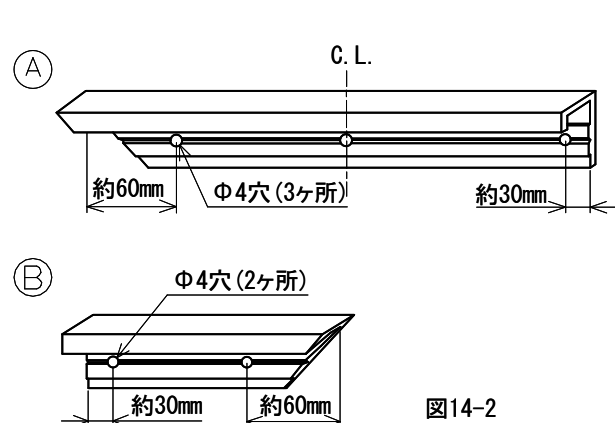


図14-2

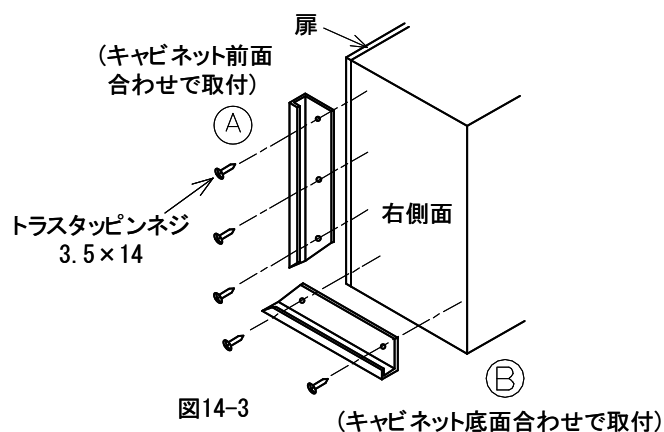


図14-3

③見切り部材をウォールキャビネットの右側面に所定のネジで固定してください。(図14-3)

～2. ウォールキャビネット左側面に取付ける場合～

①2種類の見切り部材を所定の長さにカットしてください。(図14-4)

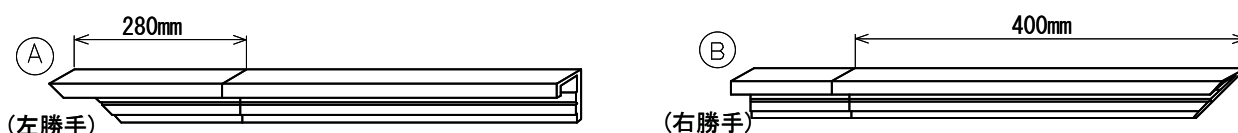


図14-4

②見切り部材の所定の位置にΦ4の穴を加工してください。(図14-5)

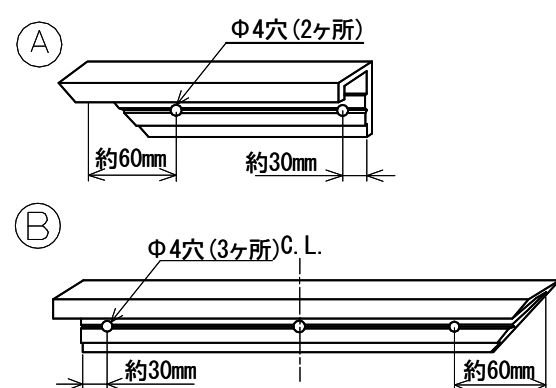


図14-5

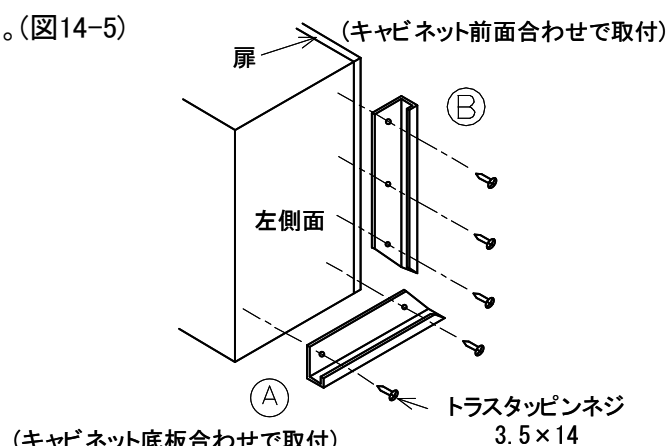


図14-6

③見切り部材をウォールキャビネットの左側面に所定のネジで固定してください。(図14-6)

(2) トールキャビネット用見切り部材の取付方法

① 見切り部材(L=1176・白)のうち1本を、以下の寸法にカットしてください。

吊戸有りの場合: 1033mm 吊戸無しの場合: 633mm

② 台輪高さが90mmの場合、見切り部材(グレー)を100mmカットしてください。

台輪高さが140mmの場合、見切り部材(グレー)を50mmカットしてください。

台輪高さが190mmの場合、カット不要。

③ 見切り部材に取付用の穴を加工してください。(図14-7)

ご注意: 穴加工前に左右どちらにつけるかを確認してください。

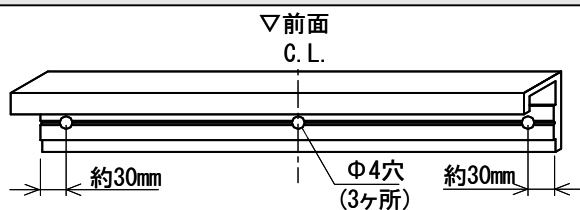


図14-7

④ 見切り部材(グレー)の離型紙を剥がしてテープで固定してください。(図14-8)

⑤ 見切り部材(白)をキャビネットにネジ(トラスネジ3.5×14)で固定してください。

(図14-8)

⑥ スポンジテープを図に示す位置に貼り付けてください。(図14-9)

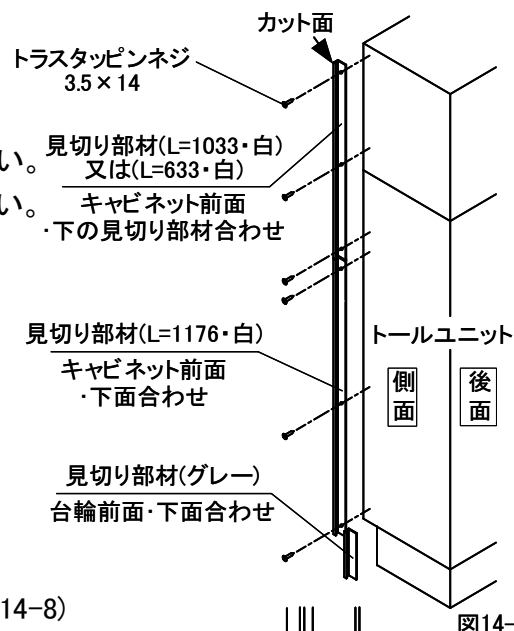


図14-8

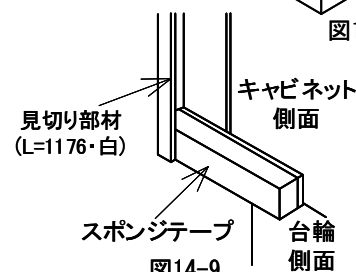


図14-9

(3) 洗面下台用見切り部材の取付方法

1. ベースキャビネット用見切り部材の取付寸法

① 見切り部材(白色とグレー色の計2本)をそれぞれ所定の長さにカットしてください。(図14-10・12・13)

※ドレッサーユニット側面に取り付ける場合は、白色の見切り部材のみ加工してください。

また、この部材のみ穴加工してください。(図14-11)

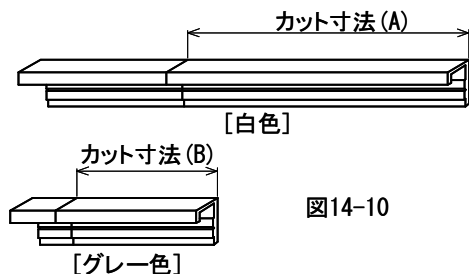


図14-10

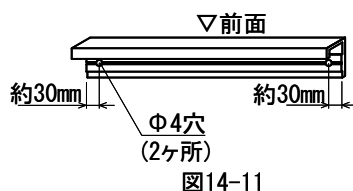


図14-11

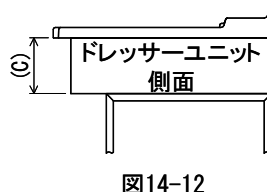


図14-12

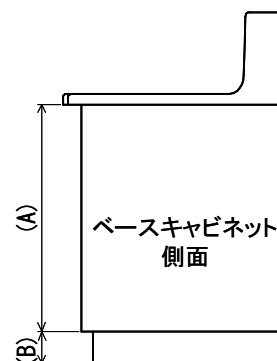


図14-13

(A): 天板前下がり下端～ベースキャビネット蹴込み部上端までの高さ寸法

(B): キャビネット蹴込み部の高さ寸法

(C): 天板前下がり下端～ドレッサーユニット下端までの高さ寸法

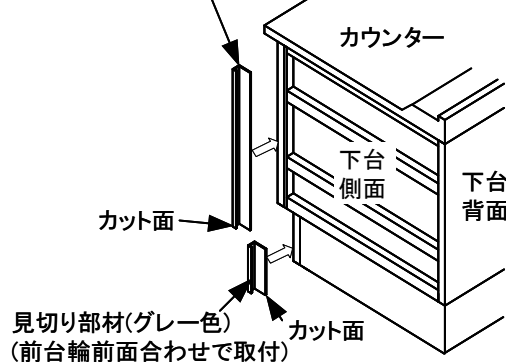
② 下図にしたがって両面テープでそれぞれの見切り部材を取り付けてください。(図14-14)

※ドレッサーユニット横に取り付ける場合、ネジを併用してください。(図14-14)

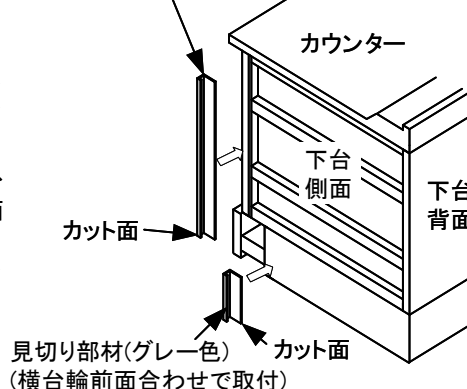
見切り部材(白色)
(キャビネット前面合わせで取付)

見切り部材(白色)
(キャビネット前面合わせで取付)

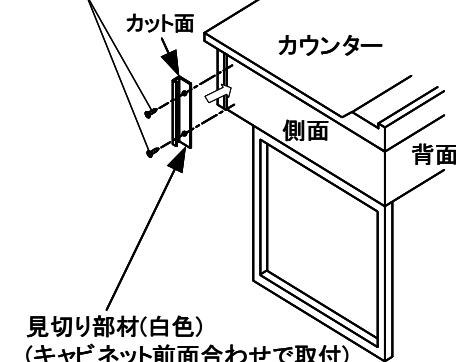
トラスタッピンネジ
3.5×14



<そこまでホーローラックがない場合>



<そこまでホーローラックがある場合>



<ドレッサーユニット横の場合>

図14-14

- ③スポンジテープを図に示す位置に貼り付けてください。(図14-15)
※スポンジテープの長さは、現物に合わせて適宜カットしてください。

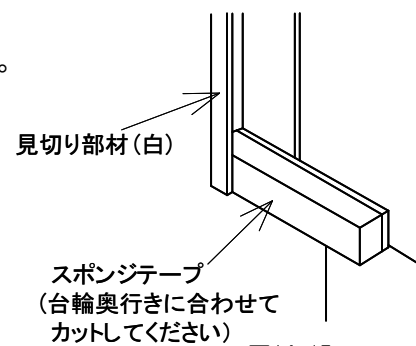


図14-15

2. 天板用見切り部材の取付方法(※クォーツカウンターの場合は不要)

- ①天板見切り部材を、見切りに付属の両面テープで、カウンターの側面に貼付けてください。(図14-16)

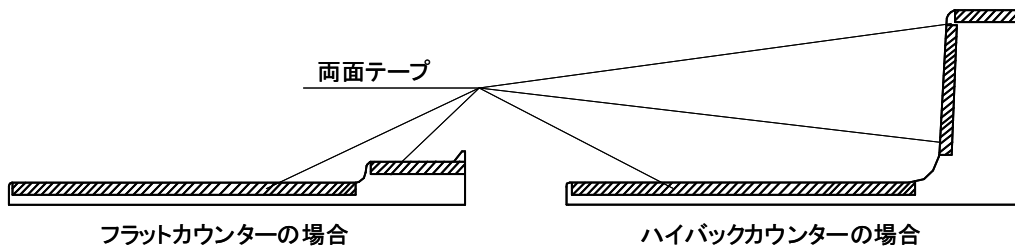


図14-16

- ②カウンターとの段差が2mmになるように天板に見切り部材を貼付けてください。(図14-17)

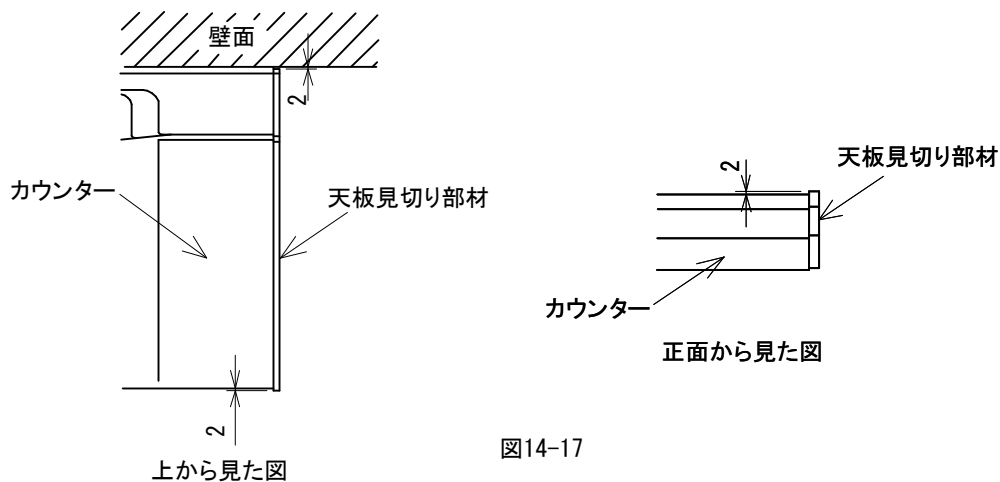


図14-17

(2)ミラー用見切り部材の取付方法

- ①2本あるミラー見切り部材のうち、1本を所定の長さにカットしてください。(図14-18)

- ・下台がフラットカウンターの場合 : 395mm(295mm)
- ・下台がハイバックカウンターの場合 : 210mm(110mm)

※()寸法は、ショートミラー取付時の寸法になります。

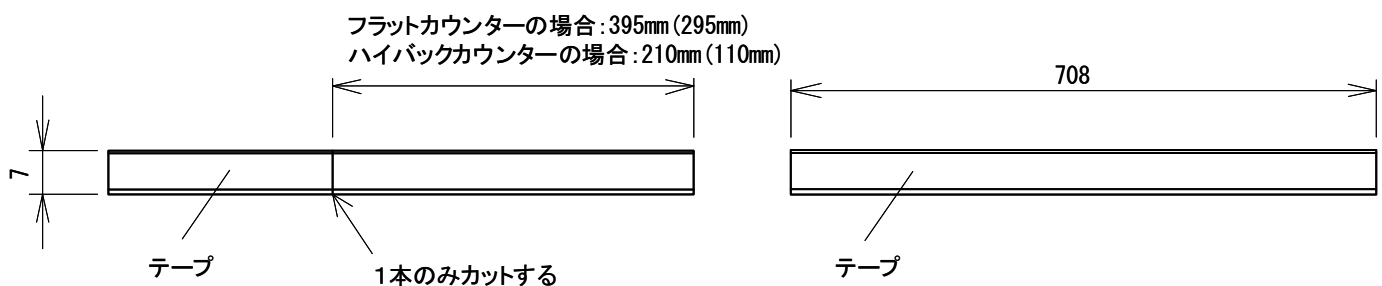


図14-18

- ②ミラー見切り部材の離型紙を剥がしてください。(図14-19)

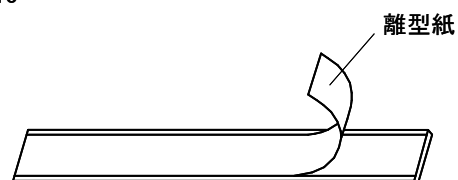


図14-19

③天板見切り部材の上に、ミラー見切り部材を貼付けてください。(図14-20)

④ミラーキャビネット、ウォールキャビネットを設置説明書にしたがって設置してください。

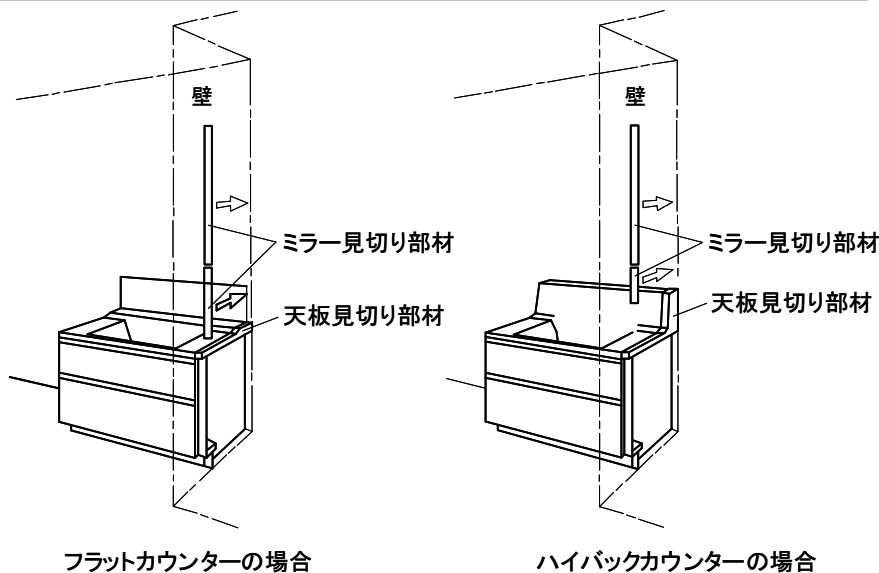


図14-20

15. 給排水および電源(自動水栓の場合のみ)の接続

(1)給排水の接続の前作業



(2)電源の接続の前作業 ※自動水栓の場合のみ

(3)給水管・給湯管の接続



(4)排水管の接続



(5)電源の接続 ※自動水栓の場合のみ

(1)給排水の接続の前作業

①下記にしたがって点検口蓋を取り外してください。

●底板点検口蓋(図15-1)

手前側の凹み3箇所を持ち上げ、点検口蓋をはずしてください。

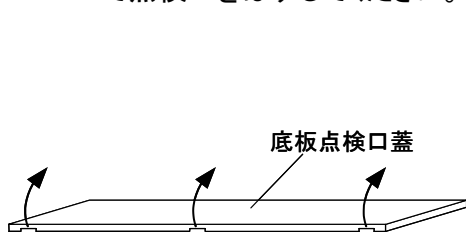


図15-1

●後板点検口蓋(図15-2)

1、両サイドの中央部分に手を掛け、手前に引いて4隅の突起をはずしてください。

2、上辺中央部分に手を掛け、下方向に力を加えながら手前に引いて点検口をはずしてください。

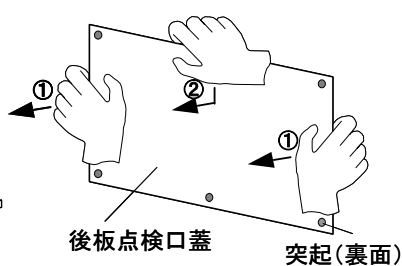
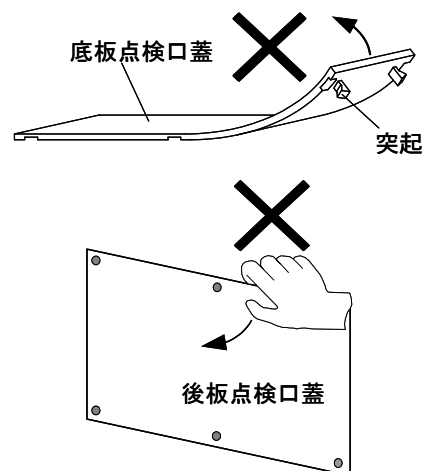


図15-2



②現場の配管位置に合わせて、点検口蓋に必要な穴(給水管・給湯管・排水管用)を加工してください。

(2)電源の接続 ※自動水栓の場合のみ

①所定の範囲内(P. 3)にコンセントが取り付けように、点検口蓋に穴をあけてください。

② ①の穴から電源コードを引き込み、コンセントを点検口蓋に取り付けてください。

(3)給水管・給湯管の接続

① (1)で点検口蓋にあけた穴を給水管・給湯管に通して、止水栓を給水管・給湯管に接続してください。

②水栓付属の説明書にしたがって、水栓と止水栓を接続してください。

ご注意: ・パッキンの取付位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因になります。
・金属製ナット類は、充分締め付けてください。締め付け不良の場合、水漏れの原因となります。

(4)排水管の接続

～床排水の場合～

※カウンター高さ85cmでジャバラストラップを使用する場合のみ

- ①下台に同梱しているストラップのジャバラ部品をU管からはずしてください。(図15-3上)
- ②台輪 Spacer (本品)に同梱しているジャバラ部品をU管に取り付けてください。(図15-3下)

ご注意: ・ジャバラ部品を取付ける際、パッキンの向きを間違えないでください。
・ジャバラ部品はU管の奥まで差し込んでください。

- ③底板点検口穴に、トラップのフレキシブルホースを通してください。(図15-4)
- ④フレキシブルホースに先端に排水管アダプターを通し排水管に接続してください。(図15-5)
- ⑤底板点検口蓋を底板に取り付けてください。
- ⑥後板点検口蓋を後板に取り付けてください。

- 凍結防止・結露防止の必要な場合は、配管に保温材を巻く等の保温処理してください。

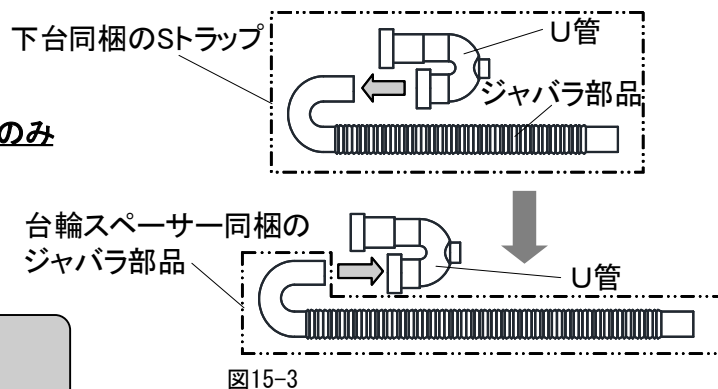


図15-3

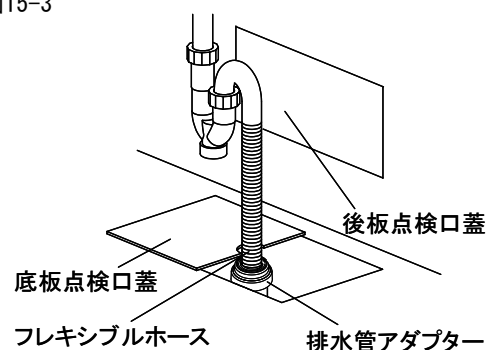


図15-4

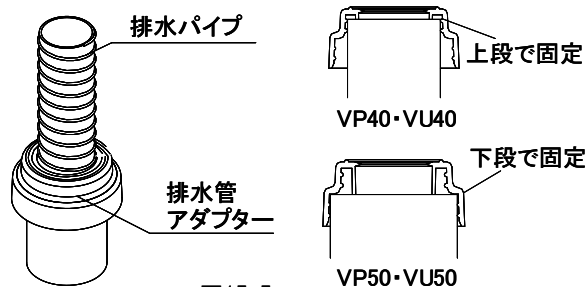


図15-5

ご注意: ・パッキンの取付位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因となります。
・U管接続用の台形パッキンは、向きを逆にしたり、ゆがんだ状態で締め付けしないでください。水漏れの原因となります。
・ナットを締める場合は、工具を使用せずに手締めしてください。袋ナットが破損するおそれがあります。

～壁排水の場合～

- ①後板点検口蓋にあげた穴にP管を通してください。(図15-6)
- ②建物側の排水管にP管を差し込んだ後、P管とストラップのU管を確実に接続してください。(図15-7)
- ③P管と建物側の排水管を水漏れのないように注意して接続してください。
- ④後板点検口蓋を後板に取り付けてください。
- ⑤底板点検口蓋を底板に取り付けてください。

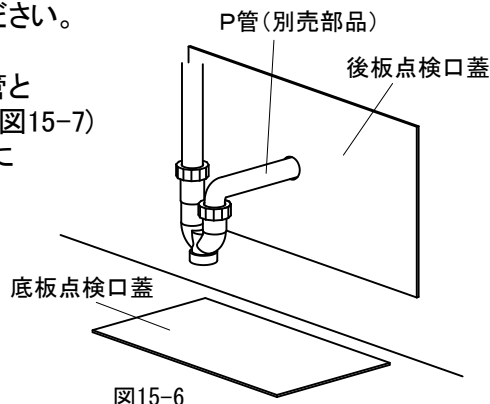


図15-6

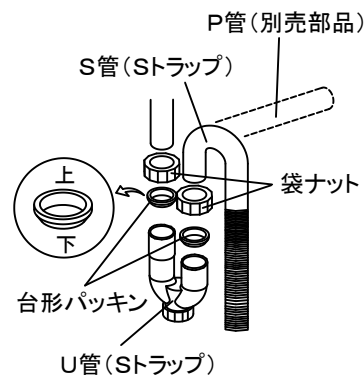


図15-7

(5)電源の接続 ※自動水栓の場合のみ

- ①水栓付属の説明書にしたがって、電源プラグを接続してください。

16. 扉の調整・保護など

(1)扉の調整

- ・扉に段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。不備がある場合は、「取扱説明書P7」にしたがって調整してください。
- ・スライド扉は、調整終了後に引出裏面より前板補強金具を用いて付属のネジで固定してください。

(2)扉保護クッションの取付

扉が隣接する壁等に当たる場合に付属の扉保護クッションを壁等の扉の当たる部分に貼付けてください。(図16)

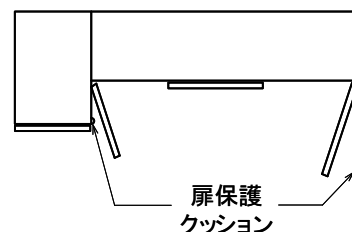
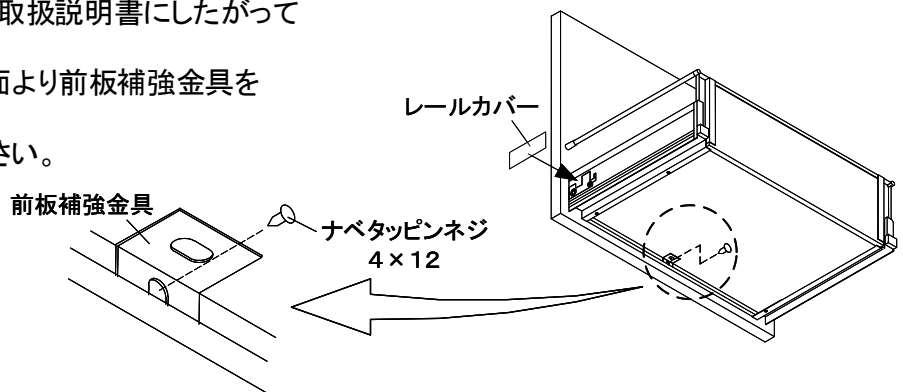


図16

(3)扉・引出の調整

- 扉に段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。不備がある場合は、別紙の取扱説明書にしたがって調整してください。
- 引出については、調整終了後に底板裏面より前板補強金具を用いて付属のネジで固定してください。
- レール側面にレールカバーをはめてください。



17. コーキング処理

外観向上及び防水処理のため、つぎの箇所を中心に必要に応じてシリコン剤(白)でコーキング処理を行ってください。(図17)

注) 濃色系のカウンターの場合、必ず透明のシリコンを使用してください。

- カウンター/ボウルキャビネット(台輪部分を含む)とホーロークリーン洗面パネル(または横壁)間の目地
- カウンターとトールユニット用エンドパネル間の目地
- カウンターとミラーパネル間の目地
- カウンターと見切り間の目地
- カウンターと横壁面間の目地
- カウンター/ボウルキャビネットと下台用エンドパネルの目地
- 洗面下台と後壁面間の目地
※フラットカウンターの場合のみ
- トールキャビネットと後壁面間の目地
※フラットカウンターの場合のみ

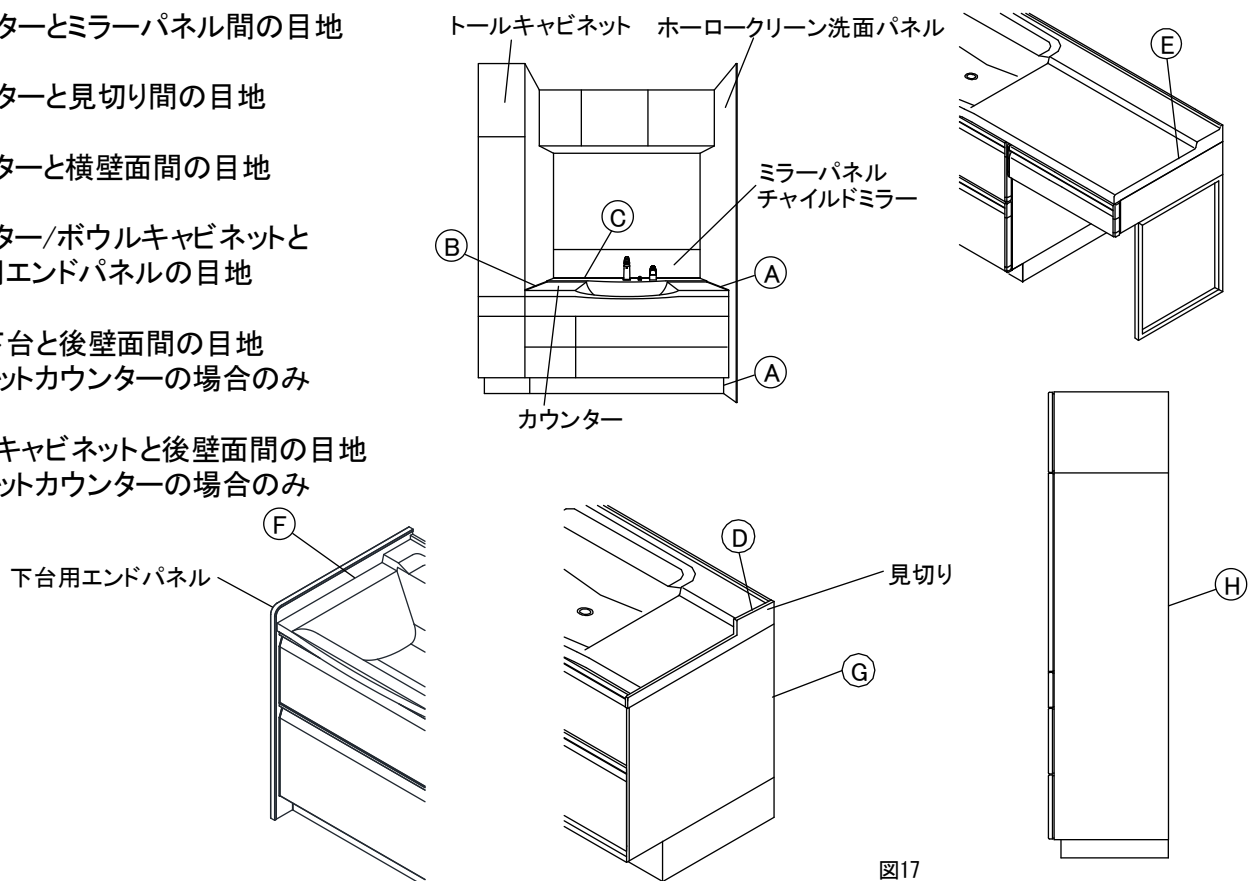


図17

点検・仕上げ

(1)点検 ⇨ (2)仕上げ

(1)点検

安全確保のため、必ず実行をお願いします。

- ①取付部材がしっかりと固定されているかを確認してください。
- ②水栓の取扱説明書にしたがって、湯水混合水栓の整流網をはずして水を流し、配管内のゴミや油を十分洗い流した後、整流網を元通りに取付けておいてください。サーモスタット付シャワー水栓タイプの場合は、止水栓の上にあるストレーナーの清掃も行ってください。
- ③スライド扉と配管が干渉しないことを確認してください。
- ④壁面へのネジ固定が確実にされているか、下記方法で確認してください。

1. ウォールキャビネット天板ぶら下がり確認

セット間口センター付近の吊戸天板(側板や中仕切のある近辺)にぶら下がり、ネジの抜けやガタツキがないか確認してください。(図A)

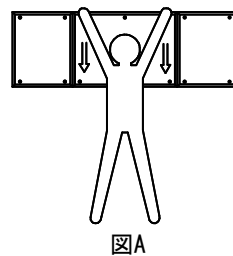
ご注意: 吊戸の底板にはぶら下がらないでください。
底板が変形するおそれがあります。

2. ウォールキャビネット底板引っ張り確認

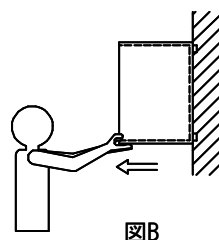
ウォールキャビネットの底板を引っ張り、ネジの抜けやガタツキがないか確認してください。(図B)

3. ボウルキャビネット 引っ張り確認

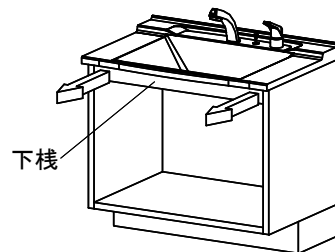
ボウルキャビネットの下枠を手前に引っ張り、ネジの抜けやガタツキがないか確認してください。(図C)



図A



図B



図C

(2)仕上げ

配管接続部に水漏れが無い事を確認してください。

設置時に製品が汚れた場合は、水を含ませ固く絞った布または水をよくきったスポンジ拭いてください。その後、乾いた布で拭き取ってください。落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。その後、水を含ませ固く絞った布または水をよくきったスポンジで洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。

ご注意: 溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、漂白剤は使用しないでください。製品をいためるおそれがあります。



お願い事項

●製品の養生

すべての作業が完了しましたら、カウンターおよびキャビネットを保護養生してください。

●取扱説明書の保管・引渡し

洗面化粧台および組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて製品内部に収納し、お引渡しの際に不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

●梱包材その他の工事部材の処理

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

セッチセツメイショ SFE(4) OD-1

